大東市埋蔵文化財調査報告第31集

寺川浜遺跡 I

－共同住宅建設に伴う発掘調査報告書－

2012年3月
大東市教育委員会

序　文

大阪府の北東部に位置する大東市は、東部に飯盛山を含む生駒山系が南北に連なり、西部では古くは河内湾、河内湖、また江戸時代の中頃までは深野池という大きな池があり、山と海、湖、池などに彩られた多様な地形環境のなかで古来より豊かな自然を有してきました。

そのような環境のなかでわたしたちの先人達は個性豊かな歴史、文化を育み、その足跡として多くの寺社仏閣、遺跡、様々な美術工芸品など、いわゆる文化財が多く残され今日に至っています。

この度報告することになりました寺川浜遺跡の調査は、共同住宅建設に伴い行いました。この遺跡の最初の調査でありますが、今まで存在が推定されながら具体的な資料に欠けていた白鳳時代に創建された古代寺院の様子の一端を明らかにすることができました。また、弥生時代終わりの水田跡を発見することができ、大東市の歴史・文化を語るうえで、たいへん貴重な成果を得ることができたと思います。

今後、これらの成果を市民共有の財産として活用していくと共に、本報告書が本市の歴史や文化を知る基礎資料として活用され、歴史や文化財に対する理解を深めるための契機となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、発掘調査および整理作業の費用負担をはじめ多大なご協力を承りました向井恒太郎氏をはじめ、お世話になりました関係機関・各位に対しまして厚く御礼申し上げます。

また教育委員会では、今後とも先人より受け継いできました貴重な文化財を大切に保存・活用し、未来を担う次世代に託したく努力する所存でありますので、市民の皆様方におかれましては今後とも本市の文化財保護行政にご理解、ご協力賜わりますよう心よりお願い申し上げます。

平成24年3月

大東市教育委員会

教育長　中口　馨

例　言

1．本書は大阪府大東市野崎３丁目209－１における共同住宅建設に伴い、大東市教育委員会が実施した寺川浜遺跡発掘調査（TKH91－１）の報告書である。
2．調査は向井恒太郎氏の依頼によるもので、発掘調査に係る費用については同氏がこれを負担した。記して感謝の意を表する。
3．発掘調査は平成４年３月19日～同年５月16日にかけて実施した。
4．本書の座標は日本測地系を使用した。
5．発掘調査及び整理作業は大東市立歴史民俗資料館　中邉健一が担当した。
6．現地調査、整理作業等については下記の方々の参加、協力を得た。記して感謝申し上げたい。
（敬称略、五十音順）
大谷聡、谷崎光子、樋口里美、宮田八重子、森石千枝子、吉野正泰
7．本書の執筆、編集は中邉健一の監督指示の下、株式会社　地域文化財研究所が行った。
8．本書の作成にあたり、縄文土器については石田由紀子氏より教示を得た。
9．本調査に関わる遺物・写真・実測図等は大東市立歴史民俗資料館において保管している。広く利用されることを希望する。

本文目次

序文
例言
第１章　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第２章　調査成果
　第１節　調査に至る経緯　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
　第２節　基本層序　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
　第３節　遺構と遺物　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
第３章　まとめ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

挿図目次

第１図　調査地位置図（S=1/5,000）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第２図　大東市位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第３図　周辺遺跡分布図（S=1/30,000）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
第４図　調査区区割図（S=1/300）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
第５図　A区東壁・B区西壁土層断面図（S=1/60）・・・・・・・・・・・・・・・・5
第６図　第１・２遺構面全体図（S=1/150）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
第７図　第３・４遺構面全体図（S=1/150）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
第８図　遺構平面・断面・遺物出土状況実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
第９図　第２遺構面 遺構出土遺物実測図（S=1/4）・・・・・・・・・・・・・・・・11
第10図　第３遺構面 遺構出土遺物実測図（S=1/4）・・・・・・・・・・・・・・・・11
第11図　SD-B401出土遺物実測図（S=1/4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
第12図　SD-A401出土遺物実測図（S=1/4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
第13図　包含層・その他出土遺物実測図（１）（S=1/4）・・・・・・・・・・・・・・13
第14図　包含層・その他出土遺物実測図（２）（S=1/4）・・・・・・・・・・・・・・14
第15図　包含層・その他出土遺物実測図（３）（S=1/4）・・・・・・・・・・・・・・15
第16図　包含層・その他出土遺物実測図（４）（S=1/4, S=1/2）・・・・・・・・・・16
第17図　包含層・その他出土遺物実測図（５）（S=1/4, S=2/3）・・・・・・・・・・17

表 目 次

第１表　検出遺構一覧表 ・・19
第２表　出土遺物一覧表 ・・24

図 版 目 次

図版１　遺構（１）　１．A区・第１遺構面全景（北より）
２．B区・第１遺構面全景（北より）
３．A区・第２遺構面全景（北より）
図版２　遺構（２）　１．B区・第２遺構面全景（北より）
２．B区・第３遺構面全景①（北より）
３．A区・第３遺構面全景②（北より）
図版３　遺構（３）　１．B区・第４遺構面全景（北より）
２．B区・第４遺構面直上砂層土器出土状況①
３．B区・第４遺構面直上砂層土器出土状況②
図版４　遺構（４）　１．B区・第４遺構面全景（北より）
２．B区・第４遺構面水田面土器出土状況①
３．B区・第４遺構面水田面土器出土状況②
図版５　出土遺物（１）　SD-A401(36)、第Ⅲ層（48・53～56）、第Ⅷ層（74）、第Ⅹ層（80・81）出土遺物
図版６　出土遺物（２）　第Ⅹ層（93・94）、B区西壁断面G・H層（107・108・110・112）出土遺物
図版７　出土遺物（３）　B区西壁断面G・H層（111・113・114・117・118・120）出土遺物
図版８　出土遺物（４）　側溝掘削（121・122・124・125・127・128・132）、撹乱（138）出土遺物

第１章　はじめに

寺川遺跡の所在する大東市は、大阪府の東部、河内平野のほぼ中央に位置し、東は奈良県生駒市、西は大阪市、南は東大阪市、北は門真市・寝屋川市・四條畷市にそれぞれ接している。市域の東側は標高642mの生駒山を主峰とする生駒山系による急峻な山地や丘陵地が南北に広がる。中央から西側にかけては、生駒山系から西流する中小河川が形成した扇状地が形成され、西側は旧大和川による沖積作用で形成された低湿地が広がる。

寺川遺跡は河内を代表する弥生時代の大規模集落の一つとされる中垣内遺跡の北約300mに位置し、東側には古代に南海道として利用された東高野街道が通る。近隣には寺川遺跡や野崎条里遺跡・メノコ遺跡が隣接する。以下各時代の遺跡等について概要を記述する。

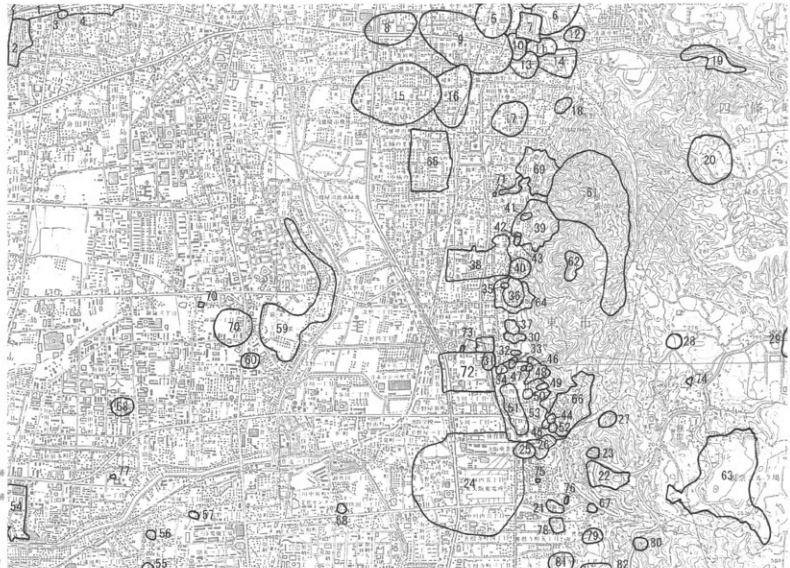
旧石器時代　市内ではこの時代の遺構は確認されていない。中垣内遺跡から出土している後期旧石器時代終末期の国府型ナイフが市内で最も古い遺物とされている。この時代の人々の活動をうかがうことができる。

縄文時代　縄文海進により上町台地先端部より大阪湾から海水が流入し、大阪平野は河内湾と呼ばれる内湾が形成される。中垣内遺跡で土坑と推定される遺構から中期末の土器が出土している。現在遺構に伴う遺物はこの事例のみである。北新町遺跡では中期～後期と晩期末の遺物が自然河川から出土しており、また城ヶ谷遺跡や鍋田川遺跡では後期の遺物が確認されている。これらは摩耗の少ないものもあり、周辺に集落が存在したことが推察されている。

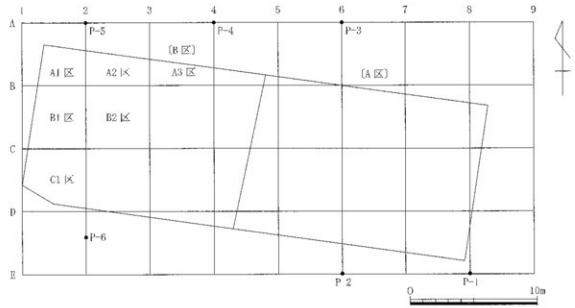
弥生時代　弥生時代前期になると河川の堆積により河内湾は海水と淡水の混ざる河内潟へ、後期には淡水の河内湖へと姿を変える。縁辺では集落が立地し始める。中垣内遺跡や北条西遺跡では前期から中期の集落跡が確認されている。また、鍋田川遺跡で後期の土器がまとまって出土していることから、河内

第１図　調査地位置図（S=1/5,000）

第２図　大東市位置図



第３図　周辺遺跡分布図 (S=1/30,000)



第４図　調査区区割図 (S=1/300)

湖縁辺だけでなく丘陵地での集落の立地が推察されている。

古墳時代　河川の堆積は進み汀線が後退し、さらにその岸辺へと集落が立地するようになる。前期には鍋山川遺跡、中期から後期は北新町遺跡・メノコ遺跡で集落が確認されている。前期古墳は今のところ確認されていない。主な古墳は堂山古墳群・城ヶ谷遺跡・北条遺跡・宮谷古墳群などがある。その中でも堂山古墳群は初期須恵器とともに三角板皮綴短甲・衝角付冑・鉄刀・鉄鏃などの鉄製武器・武具類が出土していることから、古墳時代中期の有力な首長墓と考えられている。

古代　瓦堂遺跡では古墳時代終末～奈良時代前半の布目瓦が出土していることから、古代寺院の存在が推察されている。奈良時代には北新町遺跡・寺川遺跡・元粉遺跡で集落が確認されており、北新町遺跡では人面墨書土器が、寺川遺跡では墨書須恵器が出土し、官衙的な集落が想定されている。

中世　北新町遺跡では亀源の東大寺再建に使用された瓦が出土しており、大和への物資運搬ルートの拠点であった港であることが想定されている。また、戦国時代に近畿地方を支配した武将の三好長慶の居城である飯盛山城、その支城とされるキリスト教信者である三箇頼照の三箇城などの城跡が知られる。

近世　江戸時代にはいると徳川幕府による大坂城が再築され、その際の石垣用石材の採石地であった石切場跡が知られ、弥生時代後期の高地性集落とされる国見高地性遺跡の一画にも石切り場跡が認められる。また、宝永元年（1704）には大和川付け替え工事が行われ、それに伴い新田開発が盛んになる。その管理施設である平野屋新田会所跡などがある。

以上のように、当該地域の周辺では旧石器時代から近世に至るまで人々の活動の痕跡が連綿と続く地であるといえる。

（参考文献）

大東市教育委員会　2005年『中垣内遺跡－学校法人大阪産業大学校舎新築工事に伴う－』大東市埋蔵文化財調査報告第23集

大東市教育委員会　2008年『中垣内遺跡－大東市公共下水道工事に伴う発掘調査報告書－』大東市埋蔵文化財調査報告第29集

第２章　調査成果

第１節　調査に至る経緯

今回の発掘調査の契機は、事業主である向井恒太郎氏より文化財保護法にもとづき、大東市野崎３丁目209－１番地において共同住宅を建設したい旨の届出が平成３年９月18日付けで大東市教育委員会に提出されたことによる。

その届出に対し、大阪府教育委員会から埋蔵文化財に対する取り扱いの通知があるが、諸般の事情により大東市教育委員会との協議にもとづき、通知前に計画地における遺跡の範囲確認調査を平成３年11月12日に実施した。その結果、遺物包含層が認められ、今回の計画が遺跡に影響を及ぼすことが確認された。

この調査結果を受けて事業主、工事関係者との間で遺跡の保存について協議を重ねたが、計画の変更は困難であるとの見解に至ったことから、遺跡が損なわれる部分については記録保存を目的とする発掘調査を実施することとなった。

結果、向井恒太郎氏より大東市教育委員会が委託を受け、文化財保護法第57条の３（現第98条の２）にもとづき発掘調査を実施した。

現地調査は平成４年３月19日に着手し、同年５月16日に終了した。また遺物整理、報告書作成作業は現地調査終了後、歴史民俗資料館において行い、本書の刊行をもって今回の発掘調査にかかる一連の作業のすべてが終了したものである。

最後に、調査の実施に際して向井恒太郎氏より深甚なるご理解とご協力を賜り、ここに明記して感謝の意を表する。

第２節　基本層序

今回の調査では４面の遺構面を確認した。基本的な層序については以下の通りである。

A区基本層序

第Ⅰ層　盛土、旧耕土、床土である。層厚は0.3m、0.2m、0.1mを測る。

第Ⅱ層　灰色砂質土。上面はほぼ平坦である。青磁などが出土している。層厚は0.1m～0.2mを測る。上面が第１遺構面を形成する。

第Ⅲ層　灰黄色砂質土、暗茶褐色粘質土から成る。北側と南側に堆積する。黒色土器、瓦器、中国製青磁、土錘などが出土している。層厚は0.2m～0.3mを測る。上面が第２遺構面を形成する。

第Ⅵ層　灰黄色砂、灰青色砂～粗砂、茶褐色土から成る。中央部から南側に堆積する。層厚は0.3m～0.4mを測る。

第Ⅸ層　暗灰青色粘質土。南側に堆積する。土師器、須恵器などが出土している。層厚は0.1m～0.3mを測る。

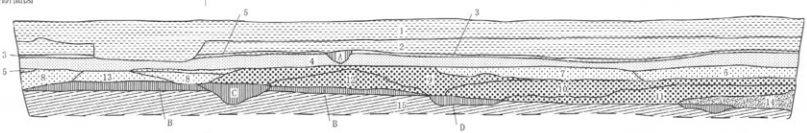
第Ⅺ層　黒色粘土。層厚は0.1m～0.4mを測る。上面が第４遺構面を形成する。

B区基本層序

第Ⅰ層　盛土、旧耕土、床土である。層厚は0.3m、0.2m、0.1mを測る。

第Ⅱ層　灰黄色砂質土、黄褐色土から成る。上面はほぼ平坦である。陶器などが出土している。層厚は0.3m～0.5mを測る。上面が第１遺構面を形成する。

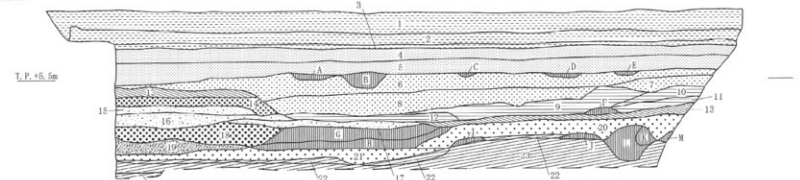
A区東壁土層断面図



1 盛土
2 旧耕土
3 床土（暗緑褐色砂質土）
4 灰色砂質土
5 褐灰色土
6 褐色混じり灰黄色砂質土
7 灰黄色砂質土
8 暗灰黄色砂質土
9 灰黄色砂
10 灰青色粗砂
11 灰青色砂
12 茶褐色土
13 暗茶褐色粘質土
14 暗灰青色粘質土
15 黒色粘土
A 灰青色土
B 灰青色砂混じり粘質土
C 灰白色砂
D 灰色砂

第Ⅰ層 第Ⅱ層 第Ⅲ層 第Ⅳ層 第Ⅴ層 第Ⅵ層 第Ⅶ層 第Ⅷ層 第Ⅸ層 第Ⅹ層 第Ⅺ層 遺構

B区西壁土層断面図



1 盛土
2 旧耕土
3 床土（暗灰黄色砂質土）
4 灰黄色砂質土
5 黄褐色土
6 褐黄色土
7 暗茶褐色土
8 茶褐色土
9 黄褐色砂混じり暗灰色砂質土
10 黄褐色粗砂
11 黄褐色微砂
12 暗灰色砂
13 褐黄色シルト混じり灰色砂質土
14 灰黄色砂
15 黄褐色混じり灰色砂質土
16 暗灰色砂混じり土
17 褐色混じり灰色土
18 灰黄色砂
19 暗灰黒色粘質土
20 暗灰緑色砂混じり粘質シルト
21 灰黄色粗砂
22 暗灰色砂混じり粘質土
23 暗灰黒色粘土
24 暗灰緑色砂
A 灰色砂質土
B 灰色砂質土
C 灰色砂質土（褐色混じり）
D 灰青色土
E 灰色砂質土
F 灰色シルト混じり砂質土
G 暗灰青色粘質土
H 黒炭色粘質土
I 褐混じり暗灰黒色粘質土
J 褐混じり暗灰黒色粘質土
K 暗灰色シルト混じり灰色砂
L 灰色砂
M 黒灰色砂混じり粘土

0 4m

第５図　A区東壁・B区西壁土層断面図 (S=1/60)

第Ⅲ層　褐黄色土、暗茶褐色土、茶褐色土から成る。上面はほぼ平坦である。中国製青磁、須恵器仏教用具、軒丸瓦などが出土している。層厚は0.1m～0.6mを測る。上面が第2遺構面を形成する。

第Ⅳ層　黄褐色砂混じり暗灰色砂質土、黄褐色粗砂～砂、暗灰色砂から成る。北側から中央部に堆積する。須恵器、緑釉陶器などが出土している。層厚は0.1m～0.4mを測る。

第Ⅴ層　褐黄色シルト混じり灰色砂質土。北側と南側に堆積する。土師皿などが出土している。層厚0.1m～0.2mを測る。上面が第3遺構面を形成する。

第Ⅵ層　灰黄色砂。南側に堆積する。層厚は0.1m～0.3mを測る。

第Ⅶ層　黄褐色混じり灰色砂質土、暗灰色砂混じり土から成る。南側から中央部に堆積する。土師器などが出土している。層厚は0.1m～0.3mを測る。

第Ⅷ層　灰黄色砂。南側に堆積する。黒色土器、青磁、土製紡錘車などが出土している。層厚は0.3mを測る。

第Ⅸ層　暗灰黒色粘質土。南側に堆積する。層厚は0.1m～0.3mを測る。

第Ⅹ層　暗灰緑色砂混じり粘質シルト、灰黄色粗砂から成る。縄文土器、弥生土器、サヌカイトなどが出土している。層厚は0.1m～0.4mを測る。

第Ⅺ層　暗灰色砂混じり粘質土、暗灰黒色粘土、暗灰緑色砂から成る。弥生土器などが出土している。層厚は0.2m～0.4mを測る。上面が第4遺構面を形成する。

第3節　遺構と遺物

各遺構面で検出・出土した遺構・遺物の詳細については一覧表（第1表、第2表）で示している。

1．遺構

第1遺構面　第Ⅱ層をベース面として、標高はT.P.+5.9m前後を測る。遺構は溝、土坑などを検出している。

第2遺構面　第Ⅲ層をベース面として、標高はT.P.+5.7m前後を測る。遺構は溝、土坑などが検出され、遺構内からの出土遺物は須恵器、土師器、瓦器、中国製青磁・白磁など中世のものがみられる。

第3遺構面　第Ⅴ層をベース面として、標高はT.P.+5.0m前後を測る。遺構は溝、土坑、ピット、畦畔などが検出され、遺構内からの出土遺物は土師器、瓦器など中世のものがみられる。

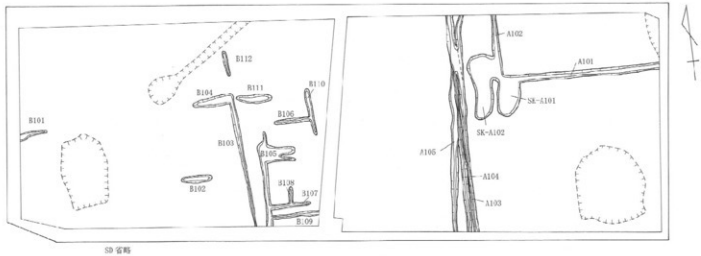
第4遺構面　第Ⅺ層をベース面として、標高はT.P.+4.7m前後を測る。遺構は溝、畦畔、水田などが検出され、遺構内からの出土遺物は弥生土器、庄内式土器、サヌカイトなど弥生時代後期末のものがみられる。

2．遺物

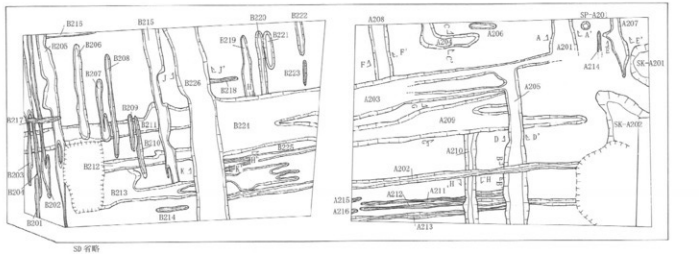
第2遺構面　遺構出土遺物（第9図）

1は東播系須恵器の捏鉢で、12世紀後半～13世紀前半の所産。2は中国製白磁碗。11世紀後半～12世紀前半の所産。1・2はSD-A202出土。3は土師器の皿、5・6は椀、8はミニチュア土器の竈。3は11世紀中頃、5・6は11世紀前後の所産。4・7は瓦器椀。7は楠葉型で、口縁部内面の沈線が口縁端部より一段下がる。見込みには長楕円状暗文を施す。I－2。9は龍泉窯系の中国製青磁碗。底部内面に草花文を施す。15世紀代の所産。3・4はSD-A203、5～7はSD-A204、8はSD-A209、9はSD-B225出土。

第１遺構面

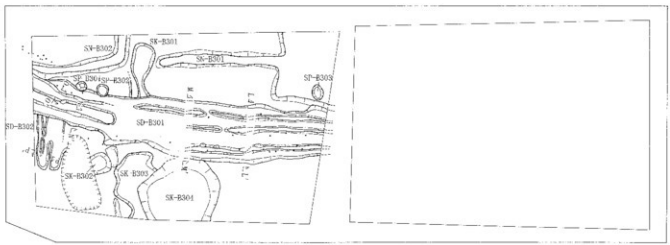


第２遺構面

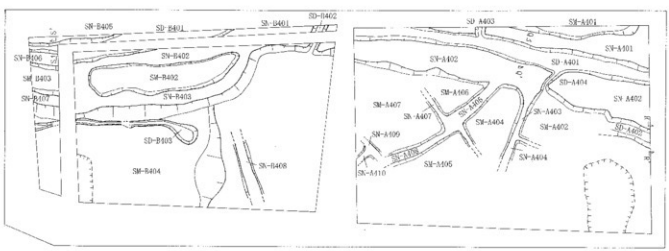


第６図　第１・２遺構面全体図 (S=1/150)

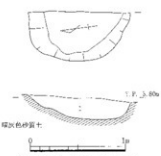
第３遺構面



第４遺構面

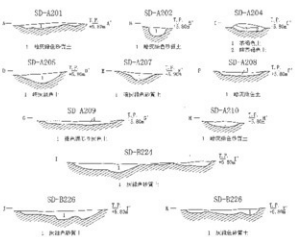


第７図　第３・４遺構面全体図 (S=1/150)

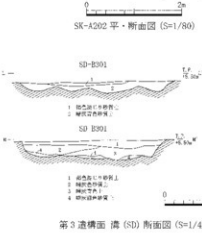


SK-A201 平・断面図 (S=1/40)

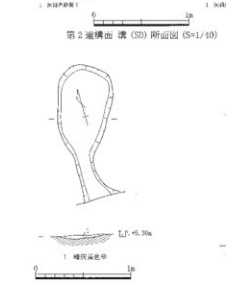
SK-A202 平・断面図 (S=1/80)



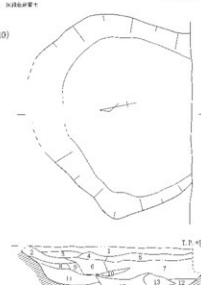
第 2 遺構面 溝 (SD) 断面図 (S=1/40)



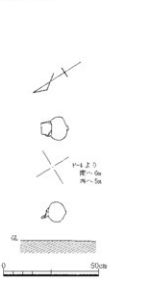
第 3 遺構面 溝 (SD) 断面図 (S=1/40)



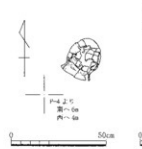
SK-B301 平・断面図 (S=1/40)



SK-B304 平・断面図 (S=1/40)



B 区第 4 遺構面直上砂層
遺物出土状況 (3) (S=1/20)



B 区第 4 遺構面直上砂層
遺物出土状況 (1) (S=1/20)

B 区第 4 遺構面直上砂層
遺物出土状況 (2) (S=1/20)

第 4 遺構面 溝 (SD) 断面図 (S=1/40)

第 8 図　遺構平面・断面・遺物出土状況実測図

第３遺構面　遺構出土遺物（第10図）

10は土師器の杯、11～13・19は皿。11・12はての字状口縁。11世紀半ば～12世紀前半の所産。14～18・20は瓦器椀。14・16は楠葉型。14は口縁部内面の沈線が口縁端部より一段下がる。Ⅱ－２。16は見込みに平行線状の暗文を施す。15・17・20は大和型。15は見込みに同心円状の暗文を、17・20は連結輪状の暗文を施す。15はⅢ－Ａ～Ｂ、17はⅠ－Ｃ～Ｄ、20はⅢ－Ａ（古段階）。10～18はSD-B301、19・20はSK-B303出土。

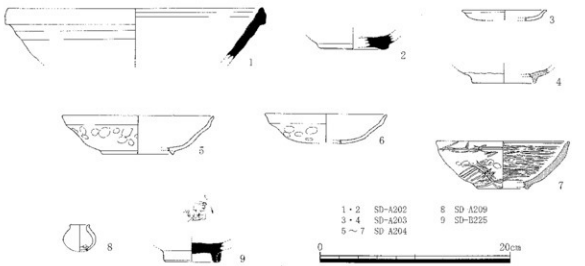
第４遺構面　遺構出土遺物（第11・12図）

21～28・38・39は弥生土器の甕、33は高杯、34は壺、41は底部。34は口縁部に２条の凹線文をもつ。23・27は生駒西麓産。29・32は庄内式土器の甕、30・31・42は壺、40は底部。Ⅴ様式～庄内期の所産。35は弥生土器の体部片で、木葉文が施される。Ⅰ様式中段階の所産。36は縄文土器の深鉢で、口縁端部に接して突帯を貼付ける。縄文時代晩期後半の長原式の所産。37はサヌカイト剥片。21～37はSD-A401、38～42はSD-B401出土。

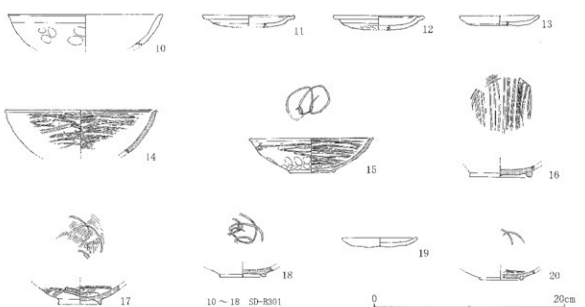
包含層・その他（第13～17図）

43は灰釉陶器もしくは緑釉陶器の椀。44は龍泉窯系の中国製青磁碗。15世紀代の所産。45は唐津焼の皿。17世紀の所産。46は紅皿。近世の所産。43～46は第Ⅱ層出土。47は陶器の甕。48は須恵器の仏教用具である。内面が摩滅しており、陶硯の可能性も考えられる。49は黒色土器Ａ類の椀。11世紀の所産。50は口縁部内面の沈線が口縁端部より一段下がる楠葉型の瓦器碗で、Ⅰ－２～３。51・52は中国製青磁碗。51は越州窯系で、９世紀の所産。52は龍泉窯系で、外面に宋文帯を施す。15世紀代の所産。53・54は複弁蓮華文軒丸瓦の瓦当部である。白鳳時代後期～奈良時代初頃の所産。55・56は土錘。47～56は第Ⅲ層出土。57・58は須恵器の杯身、59は杯。57・58はⅡ－５型式、59はⅣ－１型式。60～62は緑釉陶器の皿もしくは椀。９世紀の所産。57～62は第Ⅳ層出土。63～66は土師器の皿、67は底部。68は大和型の瓦器椀で、Ⅱ－Ａ～Ｂ。69は緑釉陶器の椀。９世紀の所産。70は中国製白磁碗。11世紀後半～12世紀前半の所産。71は砥石。63～71は第Ⅴ・Ⅶ層出土。72は黒色土器Ｂ類の椀。形態から楠葉型の祖形と考えられる。11世紀の所産。73は中国製青磁碗。74は土製紡錘車で、５世紀後半～６世紀初頭の所産。72～74は第Ⅷ層出土。75・76は庄内式土器の壺。庄内期。77は須恵器の高杯。Ⅱ－３型式。75～77は第Ⅸ層出土。78・91・93は弥生土器の壺、80～84・86は甕、79・87～90は底部。85・92は庄内式土器の甕、94は高杯、95は壺。78～95はⅤ様式～庄内期の所産。96は縄文土器の深鉢で、口縁端部に接して突帯を貼付ける。縄文時代晩期後半の長原式の所産。97・98はサヌカイト剥片。78～98は第Ⅹ層出土。99・100・103は弥生土器の壺、101・102は底部。103は体部に線刻がみられる。99・103は生駒西麓産。99～102はⅤ様式～庄内期、103は前期の所産。99～103は第Ⅺ層出土。104・106は土師器の壺、105・107～109・116は甕、110～115は高杯。５世紀半ば～後半の所産。117～119は韓式土器の平底鉢。外面の調整は117・119が格子タタキ、118は平行タタキを施す。117の底部外面にはロクロ成形の痕跡である「ゲタ痕」が認められる。５世紀後半～６世紀初頭の所産。120は滑石製双孔円盤。104～120はＢ区西壁断面Ｇ・Ｈ層出土。

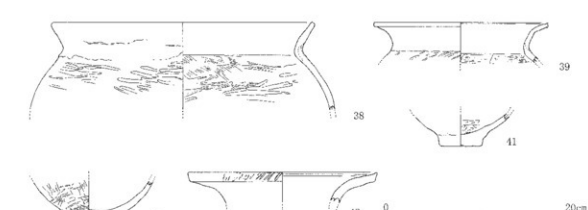
124は縄文土器の深鉢。口縁～体部に沈線と刺突文による羊歯状文を施し、体部には縄文がみられる。大洞BC式。125は浅鉢。滋賀里Ⅱ式～Ⅲ式。いずれも晩期前半の所産。121・123・126・127は弥生土器の甕、122・128は壺。121は口縁端部に刻み目、頸部に３条のヘラ描沈線を有する。122は体部に連弧文を、123は線刻を施す。129・132・134は土師器の高杯、130・131は甕、133は高杯もしくは



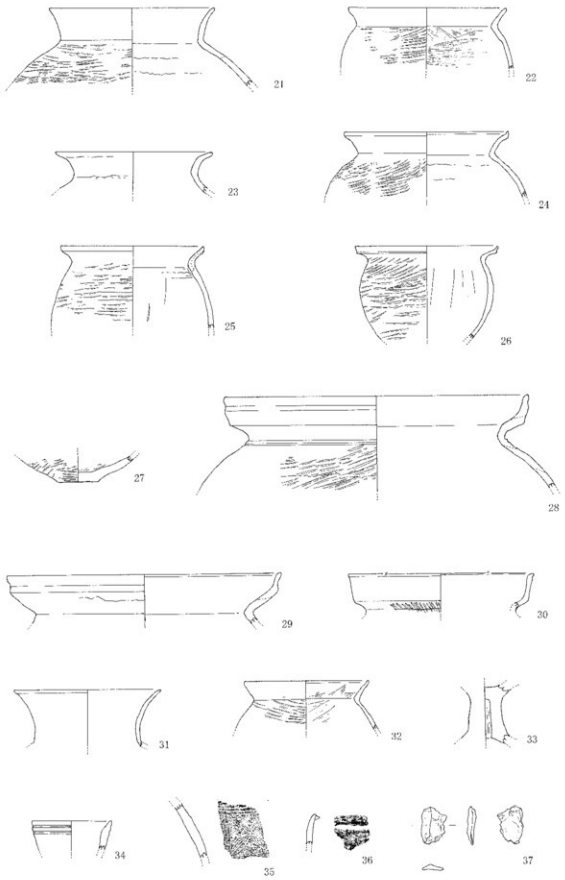
第９図　第２遺構面 遺構出土遺物実測図 (S=1/4)



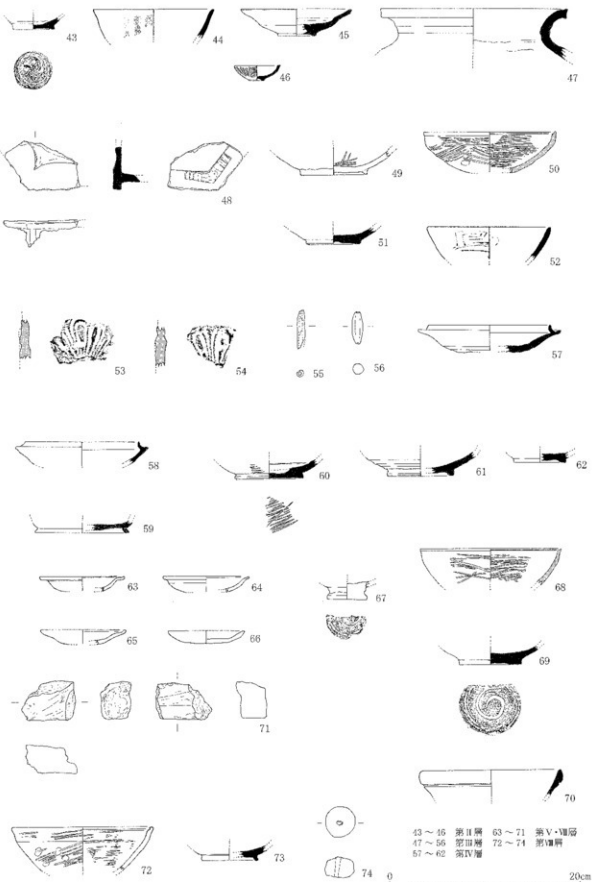
第 10 図　第３遺構面 遺構出土遺物実測図 (S=1/4)



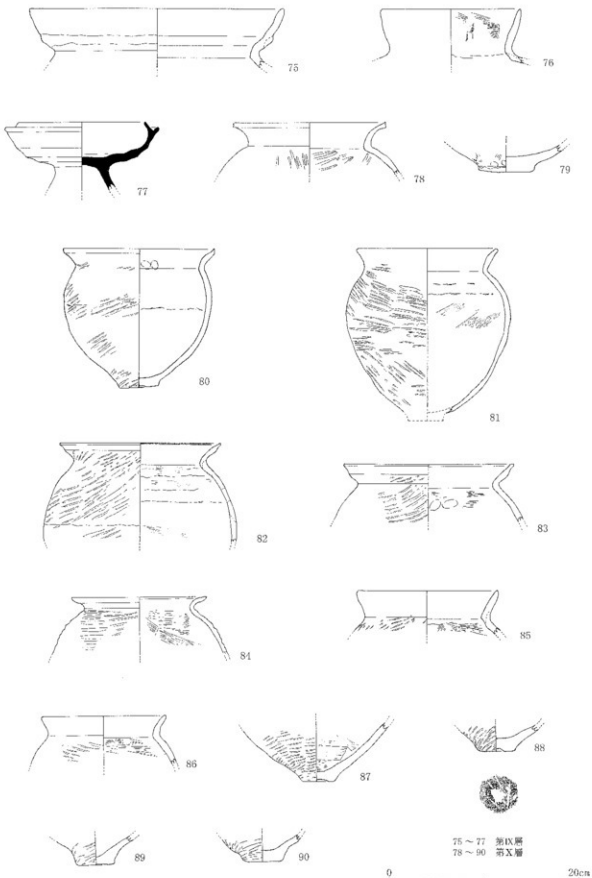
第 11 図　SD-B401 出土遺物実測図 (S=1/4)



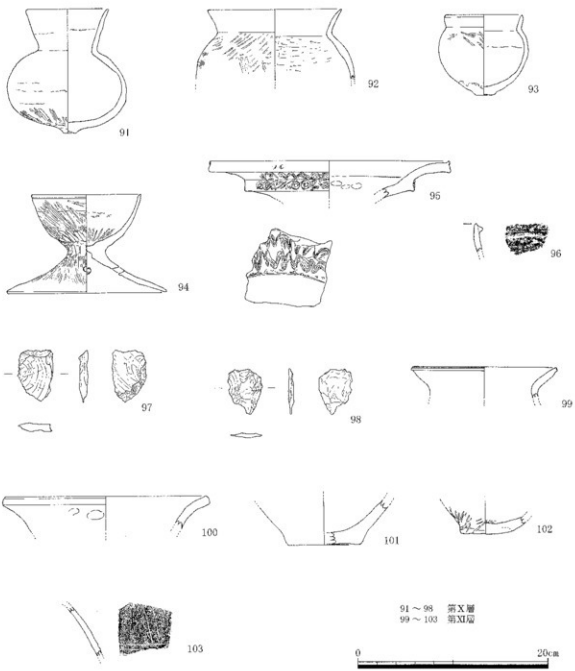
第 12 図　SD-A401 出土遺物実測図 (S=1/4)



第 13 図　包含層・その他出土遺物実測図 (1) (S=1/4)

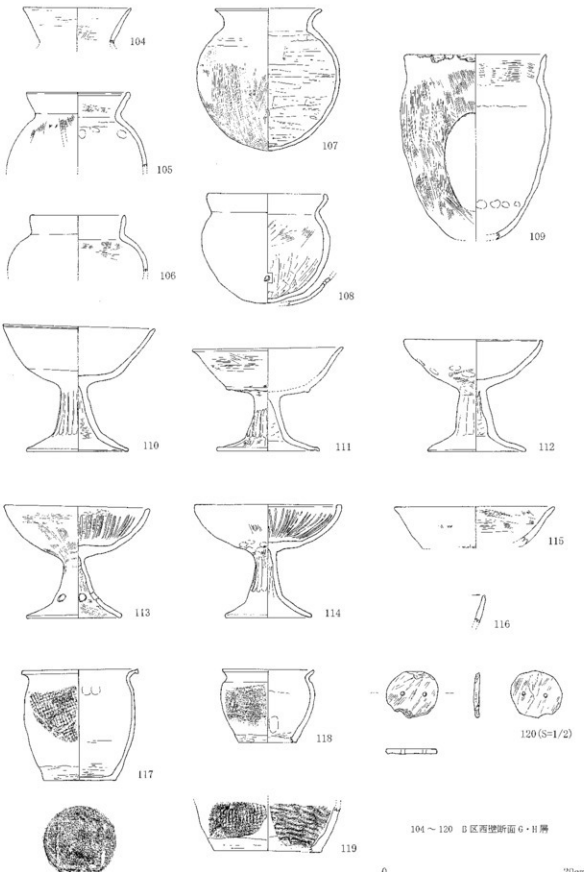


第 14 図　包含層・その他出土遺物実測図 (2) (S=1/4)

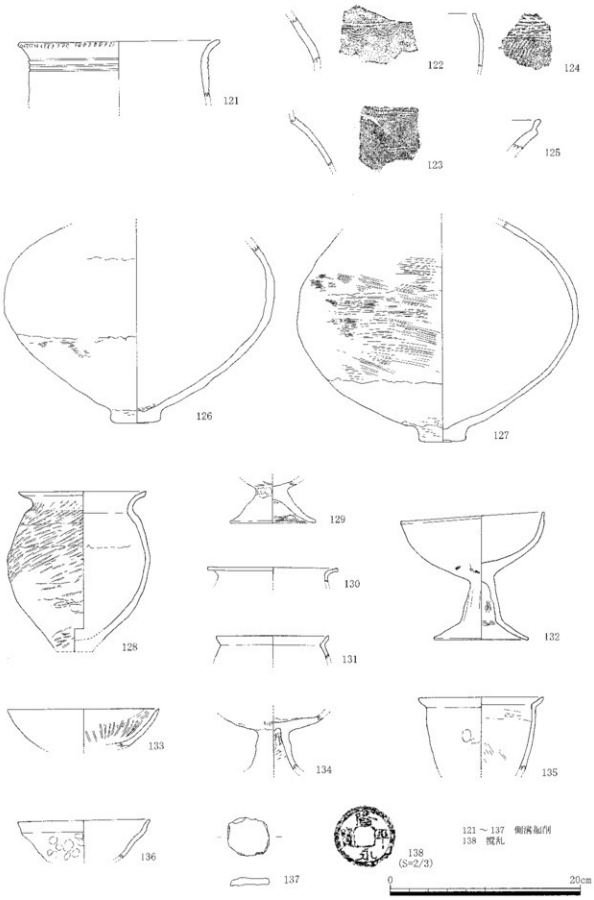


第 15 図　包含層・その他出土遺物実測図 (3) (S=1/4)

杯、135 は鉢、136 は椀。137 は土製円盤。123・126 は生駒西麓産。121 ～ 123 は I 様式中段階、126 ～ 128 はV様式、129 ～ 135 は 5 世紀半ば～後半、136 は 11 世紀前後の所産。121 ～ 137 は側溝掘削出土。138 は隆平永宝（初鋳 796 年）で、8 世紀末の所産。重量は 2.85 g。撹乱出土。



第16図　包含層・その他出土遺物実測図 (4) (S=1/4, S=1/2)



第17図　包含層・その他出土遺物実測図 (5) (S=1/4, S=2/3)

第3章　まとめ

今回の調査で明らかになった事柄を以下箇条書きにしてまとめた。

1　縄文時代晩期前半の大洞BC式の深鉢（125）と滋賀里Ⅱ～Ⅲの浅鉢（124）が出土している。いずれもわずかに摩滅しているので周辺からの流れ込みと考えられる。隣接する山麓部に当該期の集落が存在することが想定される。大洞BC式土器の存在は、東北地方との文化交流を示す資料の一つとされており貴重である。

2　山土量は少ないが、弥生時代前期中葉（Ⅰ様式中段階）の土器（35・121～123・103）が出土している。これらは多条化しないヘラ描沈線や木葉文等の文様、形態の特徴などからⅠ様式中段階と考えられる。いずれも流れ込みであり、遺構は確認されていないことから、晩期同様に周辺での集落の存在が考えられる。中垣内遺跡の北に位置する小規模な集落が存在したのであろう。中期前半の遺物は確認されていないため、後代に継続するかは不明である。同時に出土した長原式に属する縄文土器も弥生時代前期の土器と共伴した可能性がある。

3　第4遺構面では弥生時代後期末～庄内期の水田跡を検出した。市域で当該期の水田跡が確認された最初の事例である。また、同時期の土器も多数出土している。居住地に隣接する耕作地と考えられる。弥生土器には、球体化する体部、上げ底の底部、丸底化する傾向等の形態からみて、北島池下層と同時期で庄内式併行とみてよい。少量の庄内式土器もみられる。この時期の土器の実態を示す好資料と考えられる。

4　5世紀後半～6世紀初頭の韓式土器の平底鉢（117～119）や土製紡錘車（74）が出土している。平底鉢の外面は平行タタキや格子タタキがみられる。底部外面にロクロ成形の「ゲタ痕」をもつ平底鉢や土製紡錘車は、渡来人の集落が近隣に存在したことを示すものと考えられる。製塩土器は今回の調査では出土していない。

5　白鳳後期～奈良時代初頭の復弁蓮華文軒丸瓦（53・54）が出土している。市域で知られている同時期の瓦は当遺跡東方の寺川遺跡で白鳳期の平瓦の出土のみである。このほかに、陶硯の可能性もある須恵器の仏教用具（48）や皇朝十二銭の一種である隆平永宝（137）、中国産の越州窯系青磁（51）が出土している。いずれも流れ込みである。以上のことから、当遺跡東方の東高野街道沿いに、白鳳時代に創建され少なくとも9世紀まで続いたと考えられる寺院の存在が推察される。具体的な位置や伽藍配置については今後の調査を待ちたい。

6　中世の遺物には、土師器、黒色土器、瓦器、中国製青磁・白磁、土錘などが出土し、11世紀半ば～12世紀のものが多くみられる。楠葉型瓦器椀（7・14・16・50）も一定量出土しているほか、この祖形と考えられる黒色土器（72）も確認できる。和泉型瓦器椀はほとんど出土していない。また、土錘（55・56）は当時の河内湖で行われた漁労活動の一端を示す資料である。周辺に集落が存在したことが考えられる。

7　近世の遺物には、唐津焼の皿（45）や紅皿（46）などがみられる。日用雑器であり、当時の生活の一端を示す資料である。

以上のように今回の調査結果から、調査地は集落跡ではないものの、縄文時代～近世まで断続しながらも周辺に存在した集落の様子をうかがい知ることができる貴重な成果を得ることができた。

第１表　検出遺構一覧表

挿図番号	遺構番号	遺構面	検出地点	形態	規模 (m)	埋土	出土遺物	備考
1	SD-A101	第１遺構面	B6・7区	溝	長さ：7.5 幅：0.4 深さ：0.08	暗灰色土	磁器、土師器、須恵器、瓦質土器、陶器標鉢、瓦器椀	
2	SD-A102	第１遺構面	B6区	溝	長さ：2.3 幅：0.4 深さ：0.12	暗灰色土	磁器、土師器、須恵器、瓦質土器、陶器標鉢、瓦器椀	
3	SD-A103	第１遺構面	B5・6区 C5区 D5区	溝	長さ：11.5 幅：0.3 深さ：0.15	暗灰色土	土師器、黒色土器A類、瓦、陶器、瓦質土器、須恵器、瓦器、磁器	
4	SD-A104	第１遺構面	B5区 C5区 D5区	溝	長さ：11.4 幅：0.4 深さ：0.08	暗灰色土	土師器、黒色土器A類、瓦、陶器、瓦質土器、須恵器、瓦器、磁器	
5	SD-A105	第１遺構面	B5区 C5区 D5区	溝	長さ：8.9 幅：0.4 深さ：0.12	暗灰色土	土師器、黒色土器A類、瓦、陶器、瓦質土器、須恵器、瓦器、磁器	
6	SK-A101	第１遺構面	B6区 C6区	不定形	長さ：2.0 幅：1.3 深さ：0.12	－	SD-A101、SD-A102の中	
7	SK-A102	第１遺構面	B6区 C6区	不定形	長さ：3.4 幅：1.4 深さ：0.12	－	SD-A101、SD-A102の中	
8	SD-B101	第１遺構面	B1区	溝	長さ：1.5 幅：0.25 深さ：0.07		瓦器、土師器、須恵器	
9	SD-B102	第１遺構面	C2区 C3区	溝	長さ：1.5 幅：0.3 深さ：0.05	－	土師器	
10	SD-B103	第１遺構面	B3区 C3区	溝	長さ：7.2 幅：0.2 深さ：0.05	－	－	
11	SD-B104	第１遺構面	B3区	溝	長さ：2.0 幅：0.5 深さ：0.05	－	瓦器、土師器、須恵器、陶器	
12	SD-B105	第１遺構面	C3・4区 D3区	溝 不定形	長さ：4.5 幅：0.2 深さ：0.06		瓦器、土師器、須恵器	
13	SD-B106	第１遺構面	B4区	溝	長さ：2.3 幅：0.14 深さ：0.05	－	瓦器、土師器	
14	SD-B107	第１遺構面	C3・4区	溝	長さ：2.1 幅：0.15 深さ：0.05	－	瓦器、土師器、須恵器	
15	SD-B108	第１遺構面	C4区	溝	長さ：0.9 幅：0.2 深さ：0.05	－	土師器	
16	SD-B109	第１遺構面	C3・4区	溝	長さ：1.9 幅：0.15 深さ：0.03	－	瓦器、土師器、須恵器	
17	SD-B110	第１遺構面	B4区 C4区	溝	長さ：2.4 幅：0.24 深さ：0.03		瓦器、土師器、須恵器	
18	SD-B111	第１遺構面	B3区	溝	長さ：1.9 幅：0.45 深さ：0.05	－	瓦器、土師器、須恵器	
19	SD-B112	第１遺構面	B3区	溝	長さ：1.4 幅：0.2 深さ：0.04	－	瓦器、土師器	
20	SD-A201	第２遺構面	B7区	溝	長さ：1.3 幅：1.6 深さ：0.1	暗灰緑色砂質土	土師器、瓦器、須恵器	（～平安） 6～7c
21	SD-A202	第２遺構面	C4・5・6・7区	溝	長さ：12.0 幅：0.4 深さ：0.16	暗灰緑色砂質土	瓦、土師器、須恵器（ねり鉢含む）、白磁、土製方鐙	（～平安）
22	SD-A203	第２遺構面	B4・5・6区	溝	長さ：7.5 幅：0.5 深さ：0.17 長さ：5.5 幅：0.5 深さ：0.05	－	磁輪、製塩土器、土師器、緑釉、須恵器（平安？）（～平安？）、修羅土器、瓦器椀、瓦質土器	2本

第１表　検出遺構一覧表

挿図番号	遺構番号	遺構面	検出地点	形態	規模(m)	堆土	出土遺物	備考
23	SD-A204	第２遺構面	B5・6区	溝	長さ：3.2 幅：0.65 深さ：0.16	①茶褐色土 ②暗茶褐色土	瓦、土師器、黒色土器Ⅱ、瓦器椀、灰釉	平安
24	SD-A205	第２遺構面	B6区 C6区 D6区	溝	長さ：85.0 幅：12.5 深さ：0.2	暗灰緑色土	土師器、（小皿等）、須恵器、瓦器椀	平安～中世
25	SD-A206	第２遺構面	B6区	溝	長さ：1.45 幅：0.3 深さ：0.05	—	—	
26	SD-A207	第２遺構面	B7区	溝 不定形	長さ：3.2 幅：0.8 深さ：0.14	暗灰緑色砂質土	—	
27	SD-A208	第２遺構面	B5区	—	長さ：2.9 幅：0.9 深さ：0.08	暗灰緑色土	—	
28	SD-A209	第２遺構面	C4・5・6・7区		長さ：12.5 幅：1.6 深さ：0.08	褐色混じり灰色土	—	
29	SD-A210	第２遺構面	C5・6区 D5区	—	長さ：4.8 幅：0.6 深さ：0.11	暗緑灰色砂質土	—	
30	SD-A211	第２遺構面	C4区 D6・6区	溝	長さ：7.6 幅：0.1 深さ：0.08	—	—	
31	SD-A212	第２遺構面	D4・5・6区	溝	長さ：1.15 幅：0.13 深さ：0.08	—	—	
32	SD-A213	第２遺構面	D4・5・6区	溝	長さ：8.3 幅：0.3 深さ：0.05		—	
33	SD-A214	第２遺構面	B7区	溝	長さ：1.2 幅：0.2 深さ：0.01	—	—	
34	SD-A215	第２遺構面	C4区	溝	長さ：0.6 幅：0.2 深さ：0.08	—	—	
35	SD-A216	第２遺構面	D4区	溝	長さ：0.4 幅：0.25 深さ：0.09			
36	SK-A201	第２遺構面	B7区 C7区	不定形	長さ：2.2 幅：1.0 深さ：0.44	暗灰色砂質土	弥生後期壺、奏（生内Ⅴ）	
37	SK-A202	第２遺構面	C7区	不定形	長さ：7.5 幅：2.5 深さ：0.21	1　褐色混じり灰色土 2　暗灰黄色土 3　暗灰緑色土	土師器、瓦器椀	
38	SP-A201	第２遺構面	B7区	円	長さ：0.45 幅：0.45 深さ：0.65	—	土師器、土製方形板、須恵器（7～8c）、弥生土器	
39	SD-B201	第２遺構面	C1区	溝	長さ：2.3 幅：0.2 深さ：0.04	—	陶器	
40	SD-B202	第２遺構面	A1区 B1区 C1区	溝	長さ：5.0 幅：0.2 深さ：0.04	—	土師器、陶器	
41	SD-B203	第２遺構面	B1区 C1区	溝	長さ：5.0 幅：0.28 深さ：0.03	—	土師器	
42	SD-B204	第２遺構面	A1区 B1区 C1区	溝	長さ：8.7 幅：0.2 深さ：0.04		瓦、土師器、須恵器	
43	SD-B205	第２遺構面	A1区 B1区 C1区	溝	長さ：10.3 幅：0.5 深さ：0.04	—	瓦、土師器、須恵器	
44	SD-B206	第２遺構面	A1・2区 B1区	溝	長さ：5.0 幅：0.4 深さ：0.03	—	土師器、須恵器	
45	SD-B207	第２遺構面	B2区	溝	長さ：3.1 幅：0.2 深さ：0.04		土師器	

第１表　検出遺構一覧表

挿図番号	遺構番号	遺構面	検出地点	形態	規模(m)	埋土	出土遺物	備考
46	SD-B208	第２遺構面	B2区 C2区	溝	長さ：5.5 幅：0.25 深さ：0.03		瓦、土師器	
47	SD-B209	第２遺構面	B2区 C2区	溝	長さ：1.9 幅：0.2 深さ：0.04	—	瓦、土師器	
48	SD-B210	第２遺構面	B2区 C2区	溝	長さ：3.3 幅：0.25 深さ：0.05	—	土師器、須恵器	
49	SD-B211	第２遺構面	B1・2・3区	溝	長さ：8.3 幅：0.9 深さ：0.25	①灰緑色砂質土 ②灰黄色砂 ③灰緑色砂	瓦、土師器、須恵器	
50	SD-B212	第２遺構面	C2区 C3区	溝	長さ：4.6 幅：0.5 深さ：0.13	—	瓦、土師器、須恵器	
51	SD-B213	第２遺構面	C2・3・4区	不定形	長さ：11.0 幅：1.7 深さ：0.16(最深部)	—	瓦質土器、土師器、須恵器	
52	SD-B214	第２遺構面	C2区	溝	長さ：1.7 幅：0.2 深さ：0.03	—	—	
53	SD-B215	第２遺構面	A2区 B2区 C2区	溝	長さ：8.3 幅：0.6 深さ：0.04	—	土師器、須恵器、瓦器	
54	SD-B216	第２遺構面	A1・2区	溝	長さ：2.0 幅：0.2 深さ：0.02	—	瓦、土師器	
55	SD-B217	第２遺構面	B1区	溝	長さ：1.9 幅：0.25 深さ：0.03	—	—	
56	SD-B218	第２遺構面	B3区	溝	長さ：1.4 幅：0.2 深さ：0.04	—	—	
57	SD-B219	第２遺構面	B3区	溝	長さ：3.15 幅：0.3 深さ：0.02	—	土師器、須恵器	
58	SD-B220	第２遺構面	B3区	溝	長さ：3.4 幅：0.3 深さ：0.03	—	土師器	
59	SD-B221	第２遺構面	B4区	溝	長さ：2.0 幅：0.5 深さ：0.03		土師器	
60	SD-B222	第２遺構面	A4区 B4区	溝	長さ：1.8 幅：0.36 深さ：0.05	—	瓦器、土師器	
61	SD-B223	第２遺構面	B4区	溝	長さ：1.35 幅：0.2 深さ：0.03	—	土師器	
62	SD-B224	第２遺構面	B3・4区 C3・4区	溝	長さ：5.5 幅：2.8 深さ：0.18	灰緑色砂質土	瓦器、土師器、須恵器、瓦質土器	
63	SD-B225	第２遺構面	C3・4区	溝	長さ：4.8 幅：0.3 深さ：0.09		瓦器、土師器、須恵器	
64	SD-B226	第２遺構面	A3区 B3区 C3区	溝	長さ：10.3 幅：0.15 深さ：0.18	灰緑色砂質土	比較的多量 土師器、瓦器、陶器、 灰釉、瓦質	
65	SD-B301	第３遺構面	B1・2・3・4区 C2・3・4区	溝 西北西	長さ：45.0 幅：3.6 深さ：0.14	暗灰青色砂質土 暗灰黄色砂混じり暗灰青色砂質土	瓦器椀、土師器、須恵器	平安 (～平安？) (～奈良？)
66	SD-B302	第３遺構面	B1区 C1区	溝 南南西	長さ：1.3 幅：2.9 深さ：0.06	暗灰青色砂質土	土師器、須恵器、弥生V、瓦器椀	～平安？
67	SK-B301	第３遺構面	A2区 B2区	不定形	長さ：1.0 幅：2.8 深さ：0.08	暗灰黄色砂	土師器、瓦器椀	～平安？

第１表　検出遺構一覧表

挿図番号	遺構番号	遺構面	検出地点	形態	規模（m）	埋土	出土遺物	備考
68	SK-B302	第３遺構面	C2 区	不定形	長さ：1.1 幅：0.9 深さ：0.45	暗灰青色砂質土	土師器	
69	SK-B303	第３遺構面	C2 区	不定形	長さ：2.0 幅：3.5 深さ：0.14	—	瓦器椀 土師器 須恵器 弥生Ⅴ	13c 平安～？ 古墳～奈良初含む
70	SK-B304	第３遺構面	C2・3 区	円？	長さ：0.33 幅：0.44 深さ：0.71	図版参照	—	
71	SP-B301	第３遺構面	B1・2 区	円	長さ：0.45 幅：0.45 深さ：0.32	暗灰青色砂質土	土師器？ 縄式系（軟）	
72	SP-B302	第３遺構面	B2 区	円	長さ：0.6 幅：0.6 深さ：0.06	—		
73	SP-B303	第３遺構面	B4 区	楕円	長さ：0.56 幅：0.75 深さ：0.07	—	—	
74	SN-B301	第３遺構面	B2・3・4 区	楕 西	長さ：6.5 幅：0.5 深さ：0.124	—	—	東端 5.515m 西端 5.430m
75	SN-B302	第３遺構面	A2 区 B1・2 区	溝	長さ：4.8 幅：0.4 深さ：0.128	—	—	北端 5.412m 西端 5.123m
76	SD-A401	第４遺構面	B5・6・7 区	溝 西北西	長さ：15.6 幅：1.0 深さ：0.33	灰黄色砂質土 灰黄色粗砂 暗灰緑色細砂	須恵器、弥生後期、庄内、 縄文（長原）	（6～8c）※混入 前から中期散見
77	SD-A402	第４遺構面	C7 区	溝 西北西	長さ：2.0 幅：0.9 深さ：0.12	—	須恵器、弥生～土師器？	※混入
78	SD-A403	第４遺構面	B6 区	溝 南	長さ：0.2 幅：0.15 深さ：0.16	—	—	
79	SD-A404	第４遺構面	B6・7 区	溝 南西	長さ：1.0 幅：0.2 深さ：0.12	—	—	
80	SM-A401	第４遺構面	B6・7 区	不定形	2.9 ㎡	—	—	側溝に切られている （東端 5.451m、西端 5.314m）
81	SM-A402	第４遺構面	C6・7 区	不定形	9.1 ㎡	—	—	SD と側溝に切られている （東側 5.195m、西南端 5.036m）
82	SM-A403	第４遺構面	C6 区	不定形	28.5 ㎡	—	—	側溝に切られている （東側 5.121m、西端 5.043m）
83	SM-A404	第４遺構面	B6 区 C6 区	不定形	7.6 ㎡	—	—	ほぼ全容 （北端 4.993m、西端 4.883m）
84	SM-A405	第４遺構面	C5 区	不定形	18.1 ㎡			側溝に切られている （北端 4.993m、西端 4.883m）
85	SM-A406	第４遺構面	B5・6 区 C5 区	三角形	4.8 ㎡	—	—	ほぼ全容 （東端 5.128m、西端 5.002m）
86	SM-A407	第４遺構面	B5 区 C5 区	不定形	17.0 ㎡	—	—	側溝に切られている （東端 5.006m、西側 4.967m）
87	SN-A401	第４遺構面	B6・7 区	溝（畦） 西北西	長さ：8.8 幅：1.3 深さ：0.12	—	—	（東端 5.572m、西端 5.333m）
88	SN-A402	第４遺構面	B4・5・6 区	溝（畦） 西北西	長さ：15.9 幅：2.3 深さ：0.085	—		西側 5.425m、東側 5.132m
89	SN-A403	第４遺構面	C6 区	溝（畦） 南南西	長さ：3.6 幅：0.4 深さ：0.042	—	—	（北側 5.118m、南側 5.054m）

第１表　検出遺構一覧表

挿図番号	遺構番号	遺構面	検出地点	形態	規模（m）	堆土	出土遺物	備考
90	SN-A404	第４遺構面	C6 区	溝（畦）北西	長さ：0.6 幅：0.2 深さ：0.013	—	—	南東部 5.695m、北西部 5.966m
91	SN-A405	第４遺構面	B6 区 C5・6 区	溝（畦）南西	長さ：3.3 幅：0.7 深さ：0.051	—	—	北東 5.184m、南西 5.047m
92	SN-A406	第４遺構面	C5・6 区	溝（畦）南東	長さ：1.3 幅：0.3 深さ：0.032	—	—	北西 5.068m、南東 5.043m
93	SN-A407	第４遺構面	B5 区 C5 区	溝（畦）北西	長さ：1.7 幅：0.3 深さ：0.027	—		南東 5.047m、北西 5.001m
94	SN-A408	第４遺構面	C5 区	溝（畦）南西	長さ：4.1 幅：0.45 深さ：0.029	—	—	（北東 5.042m、南西 4.905m）
95	SN-A409	第４遺構面	C4・5 区	溝（畦）北西	長さ：1.0 幅：0.35 深さ：0.03	—	—	（南東 4.932m、北西 4.915m）
96	SN-A410	第４遺構面	C4 区	溝（畦）北西	長さ：0.6 幅：0.35 深さ：0.032	—	—	北東 4.924m 南西 4.887m
97	SD-B401	第４遺構面	A2・3 区	溝 西南西	長さ：11.0 幅：1.2 深さ：0.3	暗緑灰色粘質シルト 灰黄色粘砂	弥生Ⅴ（前期わずかに含む）初期流入	
98	SD-B402	第４遺構面	B4 区	溝 南西	長さ：1.5 幅：0.7 深さ：0.18	—	—	
99	SD-B403	第４遺構面	B1・2・3 区	溝 西	長さ：8.4 幅：0.5 深さ：0.5	—	—	
100	SM-B401	第４遺構面	B3・4 区 C3・4 区	不定形	35.0 ㎡	—	—	（東端 4.956m、西端 4.721m）
101	SM-B402	第４遺構面	B2・3 区	不定形	10.6 ㎡	—	—	（東端 4.907m、西端 4.697m）
102	SM-B403	第４遺構面	B1 区	不定形	2.2 ㎡	—	—	（西端 4.659m、東端 4.604m）
103	SM-B404	第４遺構面	B1・2・3 区 C1・2・3 区	不定形	24.3 ㎡	—	—	東端 4.539m、西端 4.417m
104	SN-B401	第４遺構面	A3・4 区 B4 区	溝 東	長さ：0.5 幅：4.1 深さ：0.056	—	—	（西端 5.041m、東端 4.984m）
105	SN-B402	第４遺構面	B2・3 区	溝 西	長さ：9.5 幅：0.65 深さ：0.029	—	—	東端 4.965m、西端 4.812m）
106	SN-B403	第４遺構面	B2・3 区	溝 西	長さ：9.5 幅：0.65 深さ：0.041	—	—	（東端 5.004m、西端 4.691m）
107	SN-B404	第４遺構面	B1・2 区	溝 南	長さ：2.7 幅：1.2 深さ：0.028	—		（北東端 4.755m、南西端 4.615m）
108	SN-B405	第４遺構面	A1・2 区	不定形 東	長さ：4.6 幅：0.23 深さ：0.247	—	—	（東端 4.720m、西端 4.686m）
109	SN-B406	第４遺構面	A1 区	溝 東	長さ：1.6 幅：0.65 深さ：0.07	—	—	（西端 4.699m、東端 4.666m）
110	SN-B407	第４遺構面	B1 区	溝 東	長さ：1.2 幅：0.5 深さ：0.044	—	—	（西端 4.661m、東端 4.631m）
111	SN-B408	第４遺構面	C3 区	溝 南	長さ：3.0 幅：0.65 深さ：0.033	—	—	（北側 4739m、南側 4.652m）

第２表　出土遺物一覧表

報告番号	器種	出土地点	法量（cm）	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
1	須恵器 捏鉢	A区SD-A202	口径：(27.0) 器高：(5.5)	外面：灰色N6/ 内面：灰白色N7/ 断面：灰白色N7/	堅緻	密 長石、黒色粒	外面：横ナデ、回転ナデ 内面：横ナデ、布目ナデ	東播系
2	白磁碗	A区SD-A202	底径：(7.35) 器高：(1.7)	外面：灰白色7.5Y8/1 内面：灰白色10Y8/1 断面：灰白色N8/	堅緻	密 黒色粒	外面：回転ナデ 内面：回転ナデ	Ⅳ-1類 削り出し高台 底部外面は無釉
3	土師器 小皿	A区SD-A203	口径：(9.0) 器高：(1.1)	外面：灰白色10YR8/1 内面：灰白色10YR8/1 断面：灰白色10YR8/1	良好	密	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	Aタイプ 11c半ば
4	瓦器椀	A区SD-A203	口径：(6.6) 器高：(1.6)	外面：灰色N4/ 内面：灰色N4/ 断面：灰白色N8/	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	
5	土師器 椀	A区SD-A204 北側側溝	口径：(16.0) 器高：4.1	外面：橙色7.5YR6/6 内面：明褐色7.5YR5/6 断面：にぶい橙色7.5YR6/4	良好	密 くさり礫、金雲母	外面：横ナデ、指頭圧痕、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
6	土師器 椀	A区北側側溝 A区SD-A204	口径：(12.8) 器高：(3.1)	外面：橙色5YR6/8 内面：橙色5YR6/6 断面：橙色5YR6/6	良好	密 石英、長石、雲母	外面：横ナデ、指頭圧痕、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
7	瓦器椀	A区SD-A204	口径：(14.0) 器高：(5.1)	外面：灰色N4/ 内面：灰色N4/ 断面：灰白色N8/	良好	密 くさり礫、長石	外面：横ナデ、指頭圧痕、ジグザグ状ヘラミガキ 内面：横ナデ、圏線ヘラミガキ、見込みは連続長楕円状暗文	楠葉型Ⅰ－2　12c半ば
8	土師器 ミニチュア [illegible]	A区第2遺構面精査 A区SD-A209	口径：(2.0) 器高：(2.9)	外面：灰白色10YR8/1 内面：灰白色10YR8/1 断面：灰白色10YR8/1	良好	密 くさり礫	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ、指頭圧痕	
9	青磁碗	B区SD-B225	底径：(6.0) 器高：(2.1)	外面：オリーブ灰色10Y5/2 内面：灰オリーブ色7.5Y5/2 断面：灰白色N7/ 露：灰色N6/	堅緻	密	外面：回転ナデ 内面：回転ナデ	高台内（畳付内）露胎 龍泉窯系　15c
10	土師器 杯	B区SD-B301	口径：(16.0) 器高：(3.3)	外面：灰白色10YR8/2 内面：灰白色10YR8/2 断面：褐灰色10YR4/1	やや不良	密 石英、雲母	外面：横ナデ、ナデ、指頭圧痕 内面：横ナデ、ナデ	
11	土師器 小皿	B区SD-B301	口径：(9.6) 器高：(1.2)	外面：浅黄橙色7.5YR8/3 内面：浅黄橙色7.5YR8/3 断面：明褐灰色7.5YR7/1	良好	密	外面：横ナデ、強い横ナデ、不定方向の指頭圧ナデ 内面：横ナデ、ナデ	ての字状口縁 Bbタイプ　11c半ば
12	土師器 小皿	B区SD-B301	口径：(9.3) 器高：(1.5)	外面：灰白色7.5YR8/2 内面：淡橙色5YR8/3～浅黄橙色7.5YR8/3 断面：浅黄橙色7.5YR8/3	良好	密 石英、くさり礫	外面：横ナデ、強いナデ、ナデ、指頭圧痕 内面：横ナデ、ナデ	ての字状口縁 Bbタイプ　11c半ば
13	土師器 小皿	B区SD-B301	口径：(8.4) 器高：(1.05)	外面：浅黄橙色10YR8/3 内面：灰白色10YR8/2 断面：灰白色10YR8/2	良好	密 石英、雲母	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	Jタイプ　12c
14	瓦器椀	B区SD-B301	口径：(16.0) 器高：(4.7)	外面：暗灰色N3/ 内面：暗灰色N3/ 断面：灰白色N7/	良好	密 石英	外面：横ナデ、口縁部折り返し痕、ヘラミガキ 内面：横ナデ、沈線、圏線ミガキ	楠葉型（ヘラミガキの分割制が失われる） Ⅱ－2　12c半ば～末
15	瓦器椀	B区SD-B301	口径：(13.2) 底径：(4.7) 器高：3.7	外面：暗灰色N3/ 内面：暗灰色N3/ 断面：灰白色N8/	良好	密 黒色粒	外面：横ナデ、ヘラミガキ、指頭圧痕多数 内面：横ナデ、圏線ヘラミガキ、見込みは同心円状暗文	大和型Ⅲ－A～B　12c後半～13c
16	瓦器椀	B区SD-B301	底径：(6.7) 器高：(1.2)	外面：灰色N4/ 内面：灰色N4/ 断面：灰白色N8/	良好	密 石英	外面：ナデ 内面：見込みは平行線状暗文	楠葉型 11c半ば？
17	瓦器椀	B区SD-B301	底径：(4.7) 器高：(2.1)	外面：暗灰色N3/ 内面：灰色N4/ 断面：灰白色N8/	良好	密 石英	外面：分割ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ（圏線）、ナデ、見込みは連結輪状暗文	大和型Ⅰ－C～D 11c末～12c初頭
18	瓦器椀	B区SD-B301	底径：(4.9) 器高：(1.0)	外面：灰色N6/ 内面：灰色N5/ 断面：灰白色N8/	良好	密 黒色粒	外面：ナデ 内面：連結輪状暗文	
19	土師器 小皿	B区SK-B303	口径：(7.9) 器高：2.0	外面：灰白色7.5Y8/1 内面：灰白色7.5Y8/1 断面：灰白色7.5Y8/1	良好	密 石英、くさり礫	外面：横ナデ、指頭圧痕、不定方向のナデ 内面：横ナデ、ナデ	Ad～Jタイプ　12c前半
20	瓦器椀	B区SK-B303	底径：(4.4) 器高：(1.1)	外面：暗灰色N3/ 内面：暗灰色N3/ 断面：灰白色N8/	良好	密	外面：ナデ 内面：圏線ヘラミガキ、見込みは連結輪状暗文か	大和型？Ⅲ－A(古) 12c半ば
21	弥生土器 甕	A区SD-A401	口径：(18.0) 器高：(8.4)	外面：にぶい黄橙色10YR7/3 内面：にぶい黄橙色10YR6/3 断面：にぶい黄橙色10YR7/4	堅緻	密 石英、くさり礫、白色粒	外面：横ナデ、横方向のタタキ 内面：横ナデ、ナデ	Ⅴ様式
22	弥生土器 甕	A区SD-A401	口径：(16.6) 器高：(6.6)	外面：にぶい黄橙色10YR7/4 内面：にぶい黄橙色10YR6/4 断面：褐灰色10YR6/1	良好	密 長石、金雲母、黒色粒	外面：横ナデ、ナデ、横方向のタタキ 内面：横ナデ、ナデ、ハケナデ	Ⅴ様式 体部外面の一部に黒斑

第２表　出土遺物一覧表

報告番号	器種	出土地点	法量（cm）	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
23	弥生土器 甕	A区 SD-A401	口径：(16.5) 器高：(4.3)	外面：黄褐色 2.5Y5/4 内面：暗灰黄色 2.5Y5/2 断面：暗灰黄色 2.5Y5/2	良好	密 長石、雲母、角閃石	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	生駒西麓産
24	弥生土器 甕	A区 SD-A401 A区 SD-A401	口径：(17.2) 器高：(7.0)	外面：にぶい黄色 2.5Y6/3 内面：灰黄色 2.5Y6/2 断面：黄灰色 2.5Y6/1	良好	密 石英、長石、金雲母	外面：横ナデ、ナデ、斜め横方向のタタキ 内面：横ナデ、ナデ、	V様式
25	弥生土器 甕	A区 SD-A401	口径：(15.0) 器高：(8.7)	外面：にぶい黄橙色 10YR7/3 内面：にぶい黄橙色 10YR7/2 断面：灰白色 10YR8/2	良好	密 石英、くさり礫、白色砂粒	外面：横ナデ、ナデ、横方向のタタキ 内面：横ナデ、ナデ、ヘラナデ	V様式
26	弥生土器 甕	A区 SD-A401	口径：(15.0) 器高：(9.9)	外面：浅黄橙色 10YR8/4 内面：褐灰色 10YR5/1 断面：褐灰色 10YR6/1	やや不良	密 石英、長石、雲母、チャート	外面：横ナデ、ナデ、横方向のタタキ 内面：横ナデ、ナデ、ヘラ押さえ	V様式
27	弥生土器 甕底部	A区 SD-A401	底径：(4.1) 器高：(2.3)	外面：にぶい黄褐色 10YR5/3 内面：灰黄色 2.5Y6/2 断面：黄灰色 2.5Y5/1	良好	密 石英、長石、雲母、角閃石	外面：タタキ、ナデ 内面：ナデ、ヘラ押さえ	V様式 生駒西麓産
28	弥生土器 二重口縁甕	A区 SD-A401	口径：(32.2) 器高：(10.0)	外面：にぶい橙色 7.5YR7/4 内面：浅黄橙色 7.5YR8/6 断面：灰色 N6/	やや不良	密 石英、くさり礫、長石、白色砂粒	外面：横ナデ、ナデ、斜め方向のタタキ 内面：横ナデ、ナデ	V様式
29	庄内式土器 甕口縁部	A区 SD-A401	口径：(29.0) 器高：(5.0)	外面：橙色 7.5YR6/6 内面：橙色 5YR7/6 断面：褐灰色 5YR5/1	やや不良	密 くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	庄内式
30	庄内式土器 壺	A区 SD-A401 盛土部分	口径：-- 器高：(4.1)	外面：にぶい橙色 7.5YR7/4 内面：にぶい黄橙色 10YR6/3 断面：褐灰色 10YR4/1	やや不良	密 長石、金雲母、角閃石	外面：横ナデ、ナデ、タタキ 内面：横ナデ、ナデ	庄内式
31	庄内式土器 壺口縁	A区 SD-A401	口径：(15.5) 器高：(6.0)	外面：にぶい橙色 7.5YR7/4 内面：橙色 7.5YR6/8 断面：橙色 5YR7/6	良好	密 くさり礫、長石、金雲母	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ、	
32	庄内式土器 甕	A区 SD-A401	口径：(13.1) 器高：(5.2)	外面：浅黄橙色 10YR8/3 内面：浅黄橙色 10YR8/3 断面：褐灰色 10YR5/1	良好	密 石英、くさり礫、長石	外面：横ナデ、ナデ、タタキ 内面：横ナデ、ハケナデ、ヘラケズリ	庄内式
33	弥生土器 高坏脚部	A区 SD-A401	脚部中央径：3.4 器高：(6.1)	外面：灰黄褐色 10YR6/2 内面：にぶい黄橙色 10YR7/3 断面：褐灰色 10YR6/1	良好	密 石英、長石、角閃石	外面：ナデ 内面：しぼり目？	
34	弥生土器 壺口縁部	A区 SD-A401	口径：(16.8) 器高：(4.2)	外面：にぶい黄橙色 10YR6/3 内面：にぶい黄橙色 10YR6/4 断面：にぶい黄橙色 10YR6/4	良好	密 石英、長石、金雲母	外面:横ナデ,2条凹線文、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
35	弥生土器 甕	A区 SD-A401	残長：(6.2) 厚み：1.0	外面：にぶい黄橙色 10YR7/3 内面：にぶい黄橙色 10YR7/3 断面：灰白色 10YR7/1	良好	密 くさり礫、長石	外面：沈線 内面：ナデ	体部に木葉文 I様式中段階
36	縄文土器 深鉢	A区 SD-A401	残長：(3.3) 厚み：0.85	外面：灰黄褐色 10YR5/2 内面：にぶい黄橙色 10YR6/3 断面：にぶい黄橙色 10YR6/3	良好	密 くさり礫、長石、角閃石	外面：ナデ 内面：ナデ	突帯文土器長原式
37	サヌカイト 剥片	A区 SD-A401	残長：(4.0) 残幅：(2.6) 厚み：0.6	—		—	—	
38	弥生土器 甕	B区北側側溝 (SD-B401)	口径：(27.4) 器高：(9.4)	外面：にぶい黄橙色 10YR7/3 内面：にぶい黄橙色 10YR6/3 断面：褐灰色 10YR5/1	やや不良	密 石英、くさり礫、長石、雲母、角閃石	外面：横ナデ、ヘラミガキ 内面：横ナデ、ハケメ、ヘラミガキ	
39	弥生土器 甕	B区第4遺構南水路	口径：(18.4) 器高：(4.3)	外面：灰白色 2.5Y8/2 内面：灰白色 10YR8/2 断面：灰白色 10YR8/2	良好	密 長石	外面：横ナデ、ナデ、タタキ 内面：横ナデ、ナデ、板目ハケナデ	
40	庄内式土器 甕底部	B区北側側溝 (SD-B401)	底径：3.0 器高：(4.4)	外面：にぶい黄褐色 10YR5/3 （黒斑部）：黒色 10YR1.7/1 内面：にぶい黄橙色 10YR6/3 断面：褐灰色 10YR6/1	やや不良	密 くさり礫、長石、金雲母、角閃石	外面：不定方向のタタキの後ハケナデ 内面：ナデ	V様式？～庄内期
41	弥生土器 底部	B区第4遺構南水路	底径：4.5 器高：(3.5)	外面：橙色 5YR6/6 内面：暗灰色 N3/ 断面：にぶい黄橙色 10YR7/3～褐灰色 10YR6/1	良好～やや不良	密 石英、くさり礫、長石	外面：ナデ 内面：板ナデ	
42	庄内式土器 壺口縁部	B区北側側溝 (SD-B401)	口径：(20.0) 器高：(3.3)	外面：にぶい橙色 5YR7/4 内面：橙色 2.5YR7/6 断面：褐灰色 7.5YR5/1	やや不良	やや粗 石英、長石、角閃石	外面：横ナデ、刻目、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
43	灰釉 or 緑釉 椀	A区第1層掘削（暗緑灰色砂質土）	底径：4.4 器高：(1.3)	外面：灰白色 5GY8/1 内面：明オリーブ灰色 5GY7/1 断面：灰白色 2.5GY8/1	堅緻	密 黒色粒	外面：回転ナデ 内面：回転ナデ	底部糸切痕

第２表　出土遺物一覧表

報告番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
44	青磁碗	A区第1層（暗緑灰色砂質土）掘削	口径：(12.7) 器高：(2.8)	外面：オリーブ灰色 10Y5/2 内面：灰オリーブ色 7.5Y5/2 断面：灰白色 7.5Y8/1	堅緻	密	外面：横ナデ、回転ナデ、蓮弁文 内面：横ナデ、ナデ	全面施釉 龍泉窯系　15c
45	陶器 皿	B区第2遺構面　掘り下げ	口径：(11.4) 底径：(4.0) 器高：2.9	外面：灰色 7.5Y6/1 内面：灰白色 7.5Y8/1 断面：灰色 7.5Y6/1	堅緻	密	外面：横ナデ、回転ナデ 内面：横ナデ、回転ナデ	全面施釉 唐津焼
46	紅皿	A区第2遺構面精査	口径：4.9 器高：1.6	外面：灰白色 10Y8/1 内面：灰白色 10Y8/1 断面：灰白色 10Y8/1	堅緻	密	外面：横ナデ、ヘラ描 内面：横ナデ、回転ナデ	
47	陶器 甕口縁部	A区第2遺構面の層　掘削	口径：(19.7) 器高：(5.4)	外面：暗褐色 7.5YR3/4 内面：黒褐色 7.5YR3/2 断面：灰オリーブ色 7.5YR5/3	堅緻	密 長石、黒色粒	外面：横ナデ、回転ナデ 内面：横ナデ、回転ナデ	
48	須恵器 仏具	B区第2遺構面掘り下げ	残長：(5.2) 残幅：(7.8) 器高：(2.8)	外面：オリーブ灰色 10Y5/2 内面：灰色 N6/ 断面：灰白色 N8/	堅緻	密 石英、雲母	外面：ー 内面：	外面灰被り 陶硯の可能性あり
49	黒色土器 椀	A区第2遺構面の層　掘削	口径：(7.0) 器高：(3.0)	外面：にぶい橙色 7.5YR7/4 内面：黒色 N2/ 断面：灰色 N4/	良好	密 石英、長石	外面：ナデ、粘土貼り付け痕 内面：ヘラミガキ、粘土紐痕	A類（内黒）
50	瓦器椀	A区第2遺構面の層　掘削	口径：(14.0) 器高：(4.3)	外面：暗灰色 N3/ 内面：灰色 N4/ 断面：灰白色 N8/	良好	密 石英	外面：横ナデ、ジグザグ状分割ヘラミガキ、指頭圧痕 内面：横ナデ、圏線ヘラミガキ	楠葉型 I－2～3
51	青磁碗	A区第2遺構面精査	底径：(5.8) 器高：(1.8)	外面：オリーブ黄色 5Y6/4 露：灰白色 5Y7/2 内面：浅黄色 5Y7/3 断面：灰白色 5Y8/2	堅緻	密	外面：回転ナデ 内面：回転ナデ	畳付より高台内無釉 蛇の目高台 初期輸入陶磁器？ 越州窯（I－A2）9c～10c 初
52	青磁碗	B区第2遺構面精査	口径：(12.8) 器高：(3.5)	外面：緑灰色 7.5GY6/1 内面：緑灰色 7.5GY6/1 断面：灰白色 N8/1	堅緻	密	外面：雷文 内面：ー	龍泉窯系　15c
53	軒丸瓦	B区第2遺構面掘り下げ	残長：(4.3) 厚み：1.1	外面：灰白色 2.5Y8/1 内面：灰白色 10YR8/2 断面：灰白色 2.5Y8/1	良好	密	ー	複弁蓮華文 白鳳後期～奈良初頭
54	軒丸瓦	B区第2遺構面掘り下げ	残長：(4.3) 厚み：1.0	外面：灰白色 10YR8/1 内面：浅黄橙色 10YR8/3 断面：浅黄橙色 10YR8/3	良好	密	ー	No,119と同一 白鳳後期～奈良初頭
55	土製品 土錘	A区第2遺構面精査	残長：(4.1) 直径：0.8 孔径：0.3	外面：明赤褐色 5YR5/6 内面：明赤褐色 5YR5/6 断面：明赤褐色 5YR5/6	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	
56	土製品 土錘	A区第2遺構面精査	残長：(3.4) 直径：1.1	外面：淡橙色 5YR8/4 内面：ー 断面：ー	良好	密 くさり礫、長石、雲母	外面：ナデ 内面：ナデ	未製品 未穿孔
57	須恵器 杯身	B区第3遺構面　直上の砂	口径：(12.8) 受部径：(15.2) 器高：(2.4)	外面：灰白色 N7/ 内面：灰色 N6/ 断面：灰白色 2.5GY8/1	堅緻	密 石英、長石、黒色粒	外面：横ナデ、回転ナデ、回転ヘラケズリ、不定方向ヘラ、ナデ 内面：横ナデ、回転ナデ	II－5型式？
58	須恵器 杯身	B区第3遺構面　水田面直上	口径：(12.0) 受部径：(14.2) 器高：(2.5)	外面：灰色 N6/ 内面：灰色 N5/ 断面：紫灰色 5RP5/1	やや軟	密 石英、長石、黒色粒	外面：横ナデ、回転ナデ 内面：横ナデ、回転ナデ	II－5型式 外面灰被り
59	須恵器 杯身	B区第3遺構面　水田面直上	底径：(10.0) 器高：(1.1)	外面：灰色 N6/ 内面：灰色 N6/ 断面：灰色 N6/	堅緻	密 石英、長石	外面：回転ナデ 内面：回転ナデ	IV－1様式？
60	緑釉陶器 皿 or 椀	B区第3遺構面　直上の層（粗い砂を含む）	底径：(7.0) 器高：(2.1)	外面：灰オリーブ色 7.5Y5/2 （釉）灰オリーブ色 7.5YR5/2 内面：灰オリーブ色 7.5Y6/2 （釉）灰オリーブ色 7.5Y6/2 断面：灰色 N6/	堅緻	密 石英、長石	外面：ヘラミガキ、回転ナデ 内面：回転ナデ	削り出し円盤状高台（I－c） 成形後の調整としてやや乾燥した段階でミガキが施されている
61	緑釉陶器 椀	B区第3遺構面　直上の層（粗い砂を含む）	底径：(6.9) 器高：(2.5)	外面：灰白色 7.5Y7/2 （釉）：灰白色 7.5Y6/1 内面：（釉）：浅黄色 7.5Y7/3 断面：灰白色 7.5Y7/1	堅緻	密	外面：回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ	削り出し輪高台（I－w） 畳付より高台内は無釉
62	緑釉陶器 皿 or 椀	B区第3遺構面　水田面直上	底径：(5.5) 器高：(1.1)	外面：灰色 7.5YR5/1 （高台内）釉：オリーブ灰色 10Y6/2 内面：（釉）：オリーブ灰色 10YR6/2 断面：灰色 N5/	堅緻	密	外面：回転ナデ 内面：回転ナデ	削り出し輪高台（I－w）
63	土師器 小皿	A区第3層掘削	口径：(9.0) 器高：(1.6)	外面：灰白色 7.5YR8/2 内面：灰白色 7.5YR8/2 断面：灰白色 7.5YR8/2	良好	密 くさり礫	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	ての字状口縁 Ba タイプ　11c 前
64	土師器 小皿	A区第3層掘削	口径：(9.0) 器高：(1.6)	外面：灰白色 7.5YR8/2 内面：明褐灰色 7.5YR7/1 断面：灰白色 7.5YR8/2	良好	密	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	ての字状口縁 Bc タイプ　11c 末

第２表　出土遺物一覧表

報告番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
65	土師器 小皿	A区第3層掘削	口径：(9.0) 器高：(1.5)	外面：灰白色 7.5YR8/1 内面：灰白色 7.5YR8/1 断面：灰白色 7.5YR8/1	良好	密 くさり礫	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	ての字状口縁 Bc タイプ　11c 末
66	土師器 小皿	A区第3層掘削	口径：(8.0) 器高：1.3	外面：灰白色 10YR8/2 内面：浅黄橙色 10YR8/3 断面：浅黄橙色 10YR8/3	良好	密 石英	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	A タイプⅠ期　10c 末～12c 半ば 底部外面に成形による指頭圧痕あり
67	土師器 ?	A区第3層掘削	底径：(4.2) 器高：(1.9)	外面：にぶい黄橙色 10YR7/3 内面：にぶい黄橙色 10YR7/3 断面：灰白色 10YR8/2	やや不良	密 石英、くさり礫、長石	外面：回転ナデ 内面：ナデ	底部糸切痕 円盤状高台
68	瓦器椀	A区第3層掘削	口径：(14.9) 器高：(3.6)	外面：暗灰色 N3/ 内面：暗灰色 N3/ 黒色吸着部灰白色 N8/ 断面：灰白色 N8/	良好	密	外面：横ナデ、分割ヘラミガキ 内面：横ナデ、圏線ヘラミガキ	大和型Ⅱ－A～B　12c 前半 内外面とも口縁部付近炭素無吸着
69	緑釉陶器 椀	A区第3層掘削	底径：(6.6) 器高：(2.0)	外面：灰色 N6/ （釉）明緑灰色 10GY8/1 内面：灰白色 N7/ （釉）明緑灰色 10GY8/1 断面：灰白色 N7/～2.5GY8/1	やや軟	密	外面：回転ナデ 内面：回転ナデ	削り出し円盤状高台（Ⅰ－e) 9c 前半以降の畿内
70	白磁碗	A区第1層掘削	口径：(14.6) 器高：(2.9)	外面：灰白色 2.5GY8/1 内面：灰白色 2.5GY8/1 断面：灰白色 N8/1	堅緻	密 黒細粒含む	外面：－ 内面：－	Ⅳ　1
71	砥石	A区第3層掘削	残長：(4.1) 残幅：(5.7) 厚み：3.1		－	－	－	玉ノ砥石？ 2面砥面
72	黒色土器 椀	A区第3層掘削（砂層）	口径：(14.8) 器高：(4.7)	外面：黒色 N1.5/ 内面：黒色 N1.5/ 断面：暗灰色 N3/	良好	密 石英	外面：横ナデ、指頭圧痕、分割ヘラミガキ 内面：横ナデ、圏線ヘラミガキ	B類（両黒） 楠葉型瓦器椀の祖型か
73	青磁碗	A区第3層掘削（砂層）	底径：(6.0) 器高：(1.7)	外面：灰オリーブ色 7.5Y6/2 内面：灰オリーブ色 7.5Y5/2 断面：灰色 N6/ 露：オリーブ黄色 5Y6/3	堅緻	密 黒色粒	外面：回転ナデ、底面ヘラ切り 内面：回転ナデ	高台内（畳付内）露胎
74	土製品 紡錘車	A区第3層掘削（砂層）	直径：2.1 厚み：1.7	外面：橙色 5YR6/6 内面：－ 断面：－	良好	密 石英、くさり礫、長石、金雲母	－	
75	土師器 坏	A区第3層掘削	口径：(26.8) 器高：(6.3)	外面：橙色 5YR7/6 内面：赤橙色 10R6/8 断面：灰色 N4/	やや不良	密 石英、長石	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
76	土師器 壺口縁部	A区第3層掘削	口径：(14.7) 器高：(5.8)	外面：にぶい黄橙色 10YR7/3 内面：にぶい黄橙色 10YR6/4 断面：にぶい黄橙色 10YR7/3	良好	密 くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、横方向のハケナデ、粘土紐痕	内面　部に煤付着
77	須恵器 高杯	A区第3層掘削	口径：(13.3) 受部径：(16.2) 器高：(7.3)	外面：灰色 N5/ 内面：灰色 N5/ 断面：灰色 N6/	堅緻	密 石英、長石	外面：横ナデ、回転ナデ、回転ヘラケズリ 内面：横ナデ、回転ナデ	Ⅱ－3型式（陶邑Ⅳ）
78	弥生土器 壺	B区第4遺構面　直上砂層	口径：(16.1) 器高：(5.6)	外面：橙色 5YR6/6 内面：褐灰色 5YR5/1～にぶい橙色 5YR7/4 断面：暗灰色 N3/	やや不良	密 石英、長石	外面：横ナデ、ナデ、ヘラミガキ（摩耗の為わずかに痕跡） 内面：横ナデ、ナデ、ヘラミガキ	
79	弥生土器 底部	B区第4遺構面　直上砂層	底径：5.9 器高：(3.0)	外面：黒色 N2/～灰白色 5Y7/1 内面：暗灰色 N3/ 断面：灰色 5Y6/1	良好	密 石英、長石	外面：ヘラナデかハケナデ、ヘラ状のものでナデている 内面：ナデ	
80	弥生土器 甕	B区北側側溝 B区北側側溝（第4面水路） 第4遺構面畦畔遺物 第4遺構面上段水田面遺物 第4遺構面水田面上段黒灰色粘土掘削	口径：15.9 底径：4.0 器高：13.7	外面：にぶい橙色 5YR7/4～橙色 5RY7/6 内面：にぶい橙色 5YR7/3～7/4 浅橙色 5YR8/3 断面：にぶい橙色 5YR6/4～7/4	良好	密 石英、くさり礫、長石、金雲母	外面：横ナデ、タタキ 内面：横ナデ、ナデ	Ⅴ様式
81	弥生土器 甕	B区第4層遺構面　直上砂層	口径：14.5 器高：(17.4)	外面：灰白色 7.5YR8/2 内面：浅黄橙色 7.5YR8/4～8/3 断面：明褐灰色 7.5YR7/1	良好	密 石英、くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、タタキ 内面：横ナデ、ナデ	Ⅴ様式
82	弥生土器 甕	B区第4面水田面　上段精査	口径：(17.0) 器高：(10.5)	外面：灰褐色 5YR7/8 （煤部）：黒色 内面：にぶい橙色 5YR6/4 （煤部）：黒色 断面：にぶい橙色 5YR7/3	良好	やや粗 石英、くさり礫、長石	外面：横ナデ、右上がり斜め方向タタキ 内面：横ナデ、ナデ	内外面とも煤付着
83	弥生土器 甕	B区第4面水田面　中段精査	口径：(18.0) 器高：(6.2)	外面：浅黄橙色 10YR8/4（煤部）：黒色 内面：橙色 7.5YR7/6 断面：にぶい橙色 7.5YR7/4	良好	密 石英、くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、右上がり斜め方向タタキ 内面：横ナデ、ナデ、わずかに指頭圧痕	Ⅴ様式 外面のみ火を受けている

第2表　出土遺物一覧表

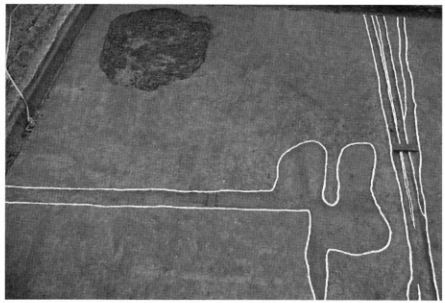
報告番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
84	弥生土器 甕	B区第4面直上砂層　掘削	口径：(14.3) 器高：(6.1)	外面：にぶい橙色7.5YR6/4 内面：にぶい橙色7.5YR6/4 断面：にぶい橙色7.5YR6/4	良好	密 長石、金雲母	外面：横ナデ、ナデ、横方向タタキ 内面：横ナデ、ナデ、ハケナデ（板状のもの）	V様式
85	庄内式土器 甕	B区第4遺構面　直上砂層	口径：(14.8) 器高：(4.7)	外面：橙色7.5YR6/6 内面：にぶい橙色7.5YR6/4 断面：橙色5YR7/6	良好	密 石英、くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、ナデ、右上がり斜め方向タタキ(4条/cm) 内面：横ナデ、ナデ、ヘラケズリ後ナデ	V様式～庄内期
86	弥生土器 甕	B区第4遺構面（上段）直上	口径：(13.0) 器高：(5.2)	外面：浅黄橙色10YR8/3 内面：にぶい黄橙色10YR7/3 断面：灰白色10YR8/2	良好	密 石英、くさり礫、雲母	外面：横ナデ、ナデ、タタキ 内面：横ナデ、ナデ	
87	弥生土器 甕底部	A区第3層掘削	底径：3.3 器高：(6.4)	外面：にぶい橙色7.5YR6/4 内面：にぶい黄橙色10YR7/4 断面：にぶい黄橙色10YR7/4	良好	密 長石、雲母、角閃石、白色砂粒	外面：横方向のタタキ 内面：ハケナデ、ヘラナデ	V様式
88	弥生土器 甕底部	B区第4遺構面　直上砂層	底径：3.9 器高：(2.8)	外面：褐灰色10YR4/1 内面：にぶい黄橙色10YR7/2 断面：浅黄橙色10YR8/4	良好	密 石英、長石、雲母	外面：タタキ(4条/cm) 内面：ナデ	V様式 底部外面に木葉文
89	弥生土器 底部	B区第4面直上砂層　掘削	底径：4.1 器高：(3.0)	外面：橙色5YR7/6 内面：暗灰色N3/ 断面：灰色N4/	良好	密 くさり礫、長石、雲母	外面：タタキ 内面：ナデ	内面全体に煤付着
90	弥生土器 甕底部	B区第4面水田面　下段精査	底径：4.2 器高：(2.8)	外面：灰褐色7.5YR4/2 内面：橙色5YR6/6 断面：淡橙色5YR8/4	良好	密 石英、くさり礫、長石	外面：タタキ 内面：ナデ	
91	弥生土器 壺	B区第4遺構面水田面上段精査 B区第4遺構面直上砂層掘削	口径：8.0 底径：1.3 器高：13.0	外面：赤橙色10R6/8 内面：赤橙色10R6/6 断面：暗赤灰色10R4/1～淡橙色5YR8/4	良好	密 石英、くさり礫、長石、金雲母	外面：横ナデ、ナデ、ヘラミガキ、指頭圧痕 内面：横ナデ、ナデ	
92	庄内式土器 甕	B区第4遺構面　直上砂層	口径：(14.1) 器高：(7.5)	外面：にぶい黄色2.5Y6/3 内面：にぶい黄色2.5Y6/4 断面：黒褐色2.5Y3/1	やや不良	やや粗 雲母、白色砂粒（長石）	外面：横ナデ、ナデ、タタキ(5条/cm)、斜め縦位ハケメ(6条/cm) 内面：横ナデ、ナデ、ていねいなヘラケズリ	
93	弥生土器 小形壺	B区第4遺構面直上砂層	口径：8.2 器高：8.5	外面：にぶい黄橙色10YR7/2 内面：にぶい黄橙色10YR6/4 断面：灰白色10YR7/1	良好	密 くさり礫、長石、角閃石、金雲母	外面：横ナデ、ナデ、ヘラミガキ、不定方向のナデ 内面：横ナデ、ナデ	
94	庄内式土器 高杯	B区第4遺構面直上砂層	口径：(11.5) 脚部径：(16.8) 器高：10.4	外面：赤橙色10YR6/8 内面：赤橙色10YR6/8 断面：淡赤橙色2.5YR7/4	良好	密 長石	外面：暗文状ヘラミガキ、太いミガキ、密なヘラミガキ、横ナデ 内面：横ナデ、ナデ、ヘラミガキ、ナデ、横ナデ	透かし孔あり（円形・4方向・外→内へ穿孔）
95	庄内式土器 二重口縁壺	B区第4面直上　砂層掘削	口径：(25.3) 器高：(4.0)	外面：橙色5YR7/6 内面：淡橙色5YR8/4 断面：明褐灰色5YR7/1	やや不良	密 くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、竹管文、波状文(6条/cm)、円形浮文(2個一対)、ナデ 内面：横ナデ、ナデ、指頭圧痕	
96	縄文土器 深鉢	A区第3層掘削	残長：(3.0) 厚み：1.0	外面：灰白色2.5Y8/2 内面：黄灰色2.5Y5/1 断面：灰色5Y4/1	やや不良	密 長石、雲母	外面：ナデ 内面：ナデ	晩期 突帯文土器長原式
97	サヌカイト 剥片	B区第4面水田面　中段精査	残長：(5.4) 残幅：(3.7) 厚み：0.9	—	—	—	—	1辺サヌカイト表皮
98	サヌカイト 剥片	B区第4面水田面　上段精査	残長：(4.8) 残幅：(3.5) 厚み：0.45	—	—	—	—	
99	弥生土器 壺口縁部	B区第4遺構面　水田面上段（黒灰色粘土掘削）	口径：(15.2) 器高：(3.3)	外面：にぶい黄橙色10YR6/3 内面：にぶい黄橙色10YR7/2 断面：にぶい黄橙色10YR7/3	良好	密 石英、長石、雲母、角閃石	外面：横ナデ、沈線、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	内面に煤付着 生駒西麓産
100	弥生土器 壺口縁部	B区第4遺構面　水田面上段（黒灰色粘土掘削）	口径：(21.2) 器高：(3.7)	外面：橙色7.5YR7/6 内面：にぶい橙色7.5YR7/4 断面：褐灰色7.5YR5/1	良好	密 石英、くさり礫、長石	外面：横ナデ、指頭圧痕、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	前期
101	弥生土器 底部	B区水田面（第4面）（黒灰色粘土掘削）	底径：5.5 器高：(2.9)	外面：にぶい褐色7.5YR6/3 内面：にぶい橙色7.5YR7/4 断面：橙色7.5YR7/6	良好	密 長石、雲母	外面：タタキ 内面：指頭圧痕、底部指ナデ	
102	弥生土器 底部	B区第4遺構面　水田面上段（黒灰色粘土掘削）	底径：(7.8) 器高：(4.3)	外面：淡橙色5YR8/4 内面：にぶい橙色5YR7/4 断面：淡橙色5YR8/3	良好	密 くさり礫、長石、雲母	外面：ナデ？ 内面：ナデ	

第２表　出土遺物一覧表

報告番号	器種	出土地点	法量（cm）	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
103	弥生土器 壺体部	B区第4遺構面　畦畔遺物	残長：(6.3) 厚み：0.7	外面：灰黄色 2.5Y6/2 ～黒色 2.5Y2/1 内面：暗灰黄色 2.5Y4/2 断面：暗灰黄色 2.5Y4/2 ～黒色 2.5Y2/1	良好	密 石英、長石、角閃石	外面：沈線 内面：ナデ	線刻土器 前期 外面全体に火を受けている 生駒西麓産
104	土師器 蓋	B区西壁断面精査	口径：(11.4) 器高：(3.9)	外面：にぶい橙色 7.5YR7/3 内面：浅黄橙色 7.5YR8/4 断面：浅黄橙色 7.5YR8/3	良好	密 くさり礫、長石、雲母、白色砂粒	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
105	土師器 甕	B区西壁断面精査	口径：10.6 器高：(8.0)	外面：にぶい黄橙色 10YR7/3 内面：にぶい黄橙色 10YR7/3 断面：黒色 10YR1.7/1	不良	密 石英、長石、雲母、白色砂粒、黒色砂粒	外面：横ナデ、ナデ、ハケナデ 内面：横ナデ、指頭圧痕、ナデ	
106	土師器 小型壺	B区西側側溝 B区西壁精査 B区西壁断面精査	口径：(9.9) 器高：(6.6)	外面：灰黄色 2.5Y6/2 内面：灰黄色 2.5Y6/2 断面：灰黄色 2.5Y6/2	良好	密 石英、長石、雲母	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
107	土師器 甕	B区西壁精査 B区第4面水田面上段精査 B区西壁断面精査	口径：(11.1) 器高：15.0	外面：灰白色 10YR8/1 ～灰黄褐色 10YR6/2 内面：にぶい黄橙色 10YR7/3 断面：灰白色 10YR8/2 ～褐灰色 10YR4/1	やや不良	密 くさり礫、長石、金雲母	外面：横ナデ、横方向のナデ、強いナデ 内面：横ナデ、ナデ、ヘラケズリ	2次焼成 底部付近黒斑アリ
108	土師器 甕	B区西壁断面精査	口径：12.4 器高：11.7	外面：浅黄橙色 7.5YR8/3 内面：浅黄橙色 7.5YR8/4 断面：浅黄橙色 7.5YR8/4	不良（火ぶくれ多し）	密 石英、くさり礫、長石、角閃石	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ、ヘラケズリ	体部下方底面近くに穿孔 外面に煤付着
109	土師器 甕	B区西壁断面精査	口径：(14.8) 器高：(19.7)	外面：灰白色 10YR8/2 内面：灰白色 10YR7/1 ～にぶい黄橙色 10YR7/2 断面：灰白色 10YR8/2	良好	密 長石、雲母	外面：横ナデ、タテハケ(8条/cm) 内面：横ナデ、横ハケ(6条/cm)、ナデ、指頭圧痕	
110	土師器 高杯	B区西側側溝（黒い層） B区西壁断面精査	口径：16.1 脚部径：10.6 器高：13.3	外面：灰白色 7.5YR8/2 内面：灰白色 7.5YR8/2 断面：灰白色 7.5YR8/2	良好	密 くさり礫	外面：横ナデ、沈線、ナデ、ヘラミガキ、ナデ、横ナデ 内面：横ナデ、ナデ、ヘラ押さえ、ナデ、横ナデ	
111	土師器 高杯	B区西側側溝 B区西壁精査 B区西壁断面精査	口径：15.9 脚部径：10.7 器高：11.0	外面：灰白色 10YR8/2 内面：浅黄橙色 10YR8/3 （脚部）黒色 10YR1.7/1 断面：浅黄橙色 10YR8/4	良好	密 石英、長石、雲母、角閃石	外面：横ナデ、ナデ、ヘラミガキ、ヘラ押さえ、横ナデ 内面：横ナデ、ナデ、ヘラケズリ、ナデ、横ナデ	脚部外面の一部～内面全体にかけて煤付着
112	土師器 高杯	B区西壁断面	口径：14.6 脚部径：10.3 器高：11.9	外面：灰白色 2.5Y8/2 内面：灰白色 2.5Y8/2 断面：灰白色 2.5Y8/2	良好	密 石英、くさり礫、長石、金雲母	外面：横ナデ、ハケ、ナデ、ヘラナデ、ナデ、横ナデ 内面：横ナデ、ナデ、ヘラ押さえ、ナデ、横ナデ	
113	土師器 高杯	B区西壁断面精査	口径：15.0 脚部径：9.9 器高：11.8	外面：灰白色 10YR8/2 内面：灰白色 7.5Y8/2 断面：灰白色 7.5Y8/1	良好	密 石英、くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、ナデ、7条のハケメ、横ナデ 内面：横ナデ、ナデの後ヘラミガキ、ヘラケズリ、7条のハケメ、横ナデ	透かし孔あり（円形・3方向）
114	土師器 高杯	B区西壁精査 B区西壁断面精査	口径：(15.4) 脚部径：(9.0) 器高：12.0	外面：にぶい橙色 7.5YR7/3 内面：にぶい橙色 7.5YR7/3 断面：にぶい橙色 7.5YR7/3	良好	密 くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、ナデ、指頭圧痕、ヘラナデ、ナデ、横ナデ 内面：横ナデ、放射線状ヘラミガキ、ヘラ押さえ、ナデ、横ナデ	
115	土師器 高杯杯部	B区西壁断面精査	口径：16.8 器高：(4.5)	外面：にぶい黄橙色 10YR7/2 内面：にぶい黄橙色 10YR7/2 断面：浅黄橙色 10YR7/4	良好	密 長石、雲母、黒色粒	外面：横ナデ、回転ナデ、若干のハケメ、ナデ 内面：横ナデ、ハケナデ or ハケメ (7条/cm)	底部からの剥離が目立つ（故意?）
116	土師器 壺	B区西壁精査	器高：(3.0)	外面：灰黄褐色 10YR6/2 内面：黒褐色 10YR3/4 断面：褐灰色 10YR4/1	良好	密 石英、長石	外面：－ 内面：－	口縁端部に1条の沈線が巡る
117	韓式土器 鉢	B区西側側溝（黒い層） B区西壁精査	口径：12.2 底径：7.6 器高：11.8	外面：にぶい黄橙色 10YR7/1 （一部）橙色 2.5YR6/8 内面：にぶい黄橙色 10YR7/1 断面：にぶい黄橙色 10YR7/1	良好	密 石英、長石、雲母、白色砂粒	外面：横ナデ、回転ナデ、格子タタキ、ヘラケズリ 内面：横ナデ、指頭圧痕、ナデ、板ナデ、粘土紐圧痕	底部外面に約4.8cm四方の圧痕（凹み）
118	韓式土器 鉢	B区西壁断面精査（韓式）	口径：(9.7) 底径：(6.2) 器高：7.8	外面：灰白色 5Y8/1 内面：灰白色 5Y8/2 断面：灰白色 5Y8/2	良好	密 くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、回転ナデ、格子タタキ、ヘラケズリ 内面：横ナデ、回転ナデ、指頭圧痕、ヘラ押さえ	
119	韓式土器 鉢	B区西側側溝 B区西壁断面精査	底径：(11.4) 器高：(5.1)	外面：灰白色 10YR8/1 内面：灰白色 10YR8/2 断面：灰白色 10YR8/2	やや不良	密 石英、くさり礫、長石、白色砂粒	外面：ヘラナデ、ヘラケズリ 内面：平行タタキ、ヘラナデ or ケズリ	

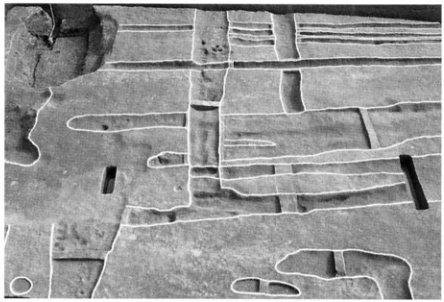
第２表　出土遺物一覧表

報告番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
120	双孔円盤（滑石製）	B 区西壁断面精査	長さ：2.5 幅：2.3 厚み：0.25	―	―	―	―	
121	弥生土器 甕	B 区北側側溝	口径：(21.0) 器高：(6.1)	外面：にぶい黄褐色 10YR5/3 内面：にぶい黄橙色 10YR6/3 断面：にぶい黄橙色 10YR6/3	良好	密 石英、くさり礫、長石、金雲母、角閃石	外面：横ナデ、D 字形キザミ目、沈線、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	I 様式中段階 D 字形キザミ目、3 条のヘラ描沈線
122	弥生土器 壺	A 区北側側溝	残長：(5.7) 厚み：0.8	外面：にぶい黄褐色 10YR5/3 内面：にぶい黄褐色 10YR5/3 断面：にぶい黄褐色 10YR5/3	良好	密 石英、長石、雲母、角閃石	外面：ナデ、連弧文 内面：ナデ	I 様式中段階
123	弥生土器 甕体部	A 区南側側溝（砂の部分） A 区南側側溝	残長：(6.5) 厚み：0.65	外面：褐色 10YR4/4 内面：暗褐色 10YR3/4 断面：褐色 10YR4/4	良好	密 石英、長石、角閃石	外面：沈線 内面：	I 様式中段階 生駒西麓産
124	縄文土器 深鉢	A 区南側側溝	残長：(6.0) 厚み：0.4	外面：褐色 10YR4/4 内面：暗褐色 10YR3/3 断面：褐色 10YR4/4	良好	密 石英、くさり礫、長石、雲母	外面：沈線、刺突文、縄文 内面：ナデ	大洞 BC 式
125	縄文土器 浅鉢	B 区北側側溝	残長：(3.2) 厚み：1.0	外面：にぶい黄褐色 10YR6/3 内面：にぶい黄褐色 10YR6/3 断面：にぶい黄褐色 10YR6/3	良好	密 石英、長石	外面：ナデ 内面：ナデ	滋賀里 II ～ III
126	弥生土器 壺	B 区西側側溝	底径：5.2 胴部径：28.7 器高：(20.7)	外面：にぶい橙色 7.5YR7/3 内面：にぶい黄橙色 10YR6/4 断面：橙色 7.5YR7/6	良好	密 長石、雲母、角閃石、チャート、(5mm 内外の礫を含む）	外面：ナデ、ミガキの痕跡があるが摩耗の為不明 内面：ナデ	外面体部下半に黒斑 生駒西麓産
127	弥生土器 広口壺	B 区北壁断面精査　（灰緑色砂混じり粘土層）	底径：5.0 胴部径：29.9 器高：(23.4)	外面：淡橙色 5YR8/3 内面：橙色 2.5YR7/6 断面：赤灰色 2.5YR5/1	やや不良	密 石英、くさり礫、長石、(5mm 内外の礫を含）	外面：ハケナデ、ナデ 内面：ナデ	外面体部下半一部に黒斑 V 様式か
128	弥生土器 甕	B 区西側側溝 B 区北側側溝 第 4 面直上砂層	口径：(13.5) 器高：(17.0)	外面：明褐灰色 7.5YR7/2 ～橙色 5YR6/6 内面：にぶい橙色 5YR7/4 ～褐灰色 5YR4/1 断面：にぶい橙色 5YR7/3 ～褐灰色 5YR5/1	良好	密 石英、長石	外面：横ナデ、ナデ、タタキすり消し、タタキ、指頭圧痕 内面：横ナデ、ナデ、	V 様式 外面摩耗が激しいが全体に火を受けている
129	土師器 高杯	B 区北側側溝	底径：9.0 器高：(4.5)	外面：にぶい橙色 7.5YR7/4 内面：橙色 5YR6/6（脚） 浅黄橙色 7.5YR8/6（杯） 断面：淡橙色 5YR8/4	良好	やや粗 石英、長石、雲母	外面：ヘラミガキ、指頭圧痕、ヘラ押さえ、横ナデ 内面：ヘラ押さえ、ナデ、ヘラミガキ	
130	土師器 甕	B 区西側側溝	口径：(13.8) 器高：(2.0)	外面：明赤褐色 2.5Y5/6 内面：にぶい褐色 7.5YR6/3 断面：にぶい褐色 7.5YR6/3	良好	密 くさり礫、長石、雲母	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
131	土師器 甕	B 区西側側溝	口径：(11.3) 器高：(2.5)	外面：淡黄色 2.5Y8/4 内面：淡黄色 2.5Y8/3 断面：淡黄色 2.5Y8/3	良好	密 石英、長石、金雲母	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
132	土師器 高杯	B 区西側側溝（黒い層）	口径：13.2 脚部径：10.0 器高：13.6	外面：橙色 2.5Y7/8 内面：橙色 2.5Y7/8 断面：淡橙色 5YR8/4	良好	密 石英、くさり礫、長石、金雲母	外面：横ナデ、ハケメ、横ナデ 内面：横ナデ、ナデ、横ナデ	
133	土師器 高杯ｏｒ杯	B 区西側側溝	口径：(15.9) 器高：(4.1)	外面：にぶい黄橙色 10YR7/4 内面：浅黄橙色 10YR8/3 断面：浅黄橙色 10YR8/3	良好	密 くさり礫、長石	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、板ナデ、ヘラミガキ	
134	土師器 高杯	B 区西側側溝	器高：(6.0)	外面：灰白色 2.5Y8/2 内面：淡黄色 2.5Y8/3 断面：淡黄色 2.5Y8/3	良好	密 くさり礫、長石、雲母	外面：ハケメ（6 条 / cm）、ナデ 内面：ヘラ押さえ、ナデ、ヘラケズリ	
135	土師質 鉢	B 区西側側溝	口径：(13.0) 器高：(7.7)	外面：灰白色 2.5Y8/1 内面：灰白色 2.5Y8/2 断面：灰白色 2.5Y7/1	良好	密 長石、雲母、チャート	外面：横ナデ、指頭圧痕、ナデ 内面：横ナデ、ヘラナデ	
136	土師器 椀	A 区北側側溝	口径：(13.7) 器高：(4.2)	外面：橙色 7.5YR6/6 内面：にぶい橙色 7.5YR7/4 断面：橙色 7.5YR7/6	良好	密 長石、雲母	外面：横ナデ、ナデ 内面：横ナデ、ナデ	
137	土製円盤	B 区北側側溝	残長：(4.0) 残幅：(4.4) 厚み：0.8	外面：灰黄褐色 10YR4/2 内面：にぶい黄褐色 10YR5/3 断面：にぶい黄橙色 10YR6/4	良好	密 くさり礫、雲母、角閃石	外面：ヘラケズリ 内面：ナデ	生駒西麓産 土器片を転用
138	隆平永宝	攪乱	径：(4.6) 重量：2.85 g	―	―	―	―	

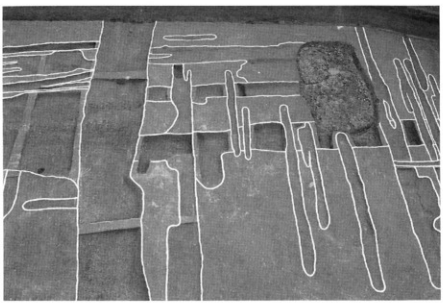


1．A区・第1遺構面全景
（北より）

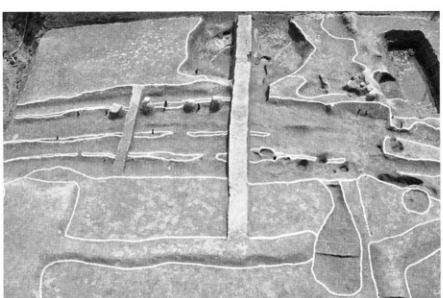
2．B区・第1遺構面全景
（北より）



3．A区・第2遺構面全景
（北より）

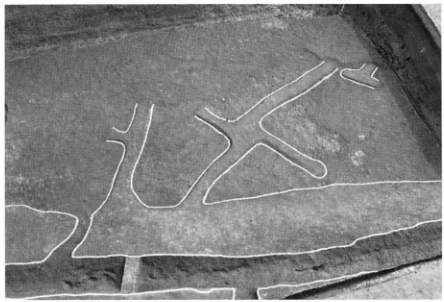


1．B区・第2遺構面全景
（北より）



2．B区・第3遺構面
全景①（北より）

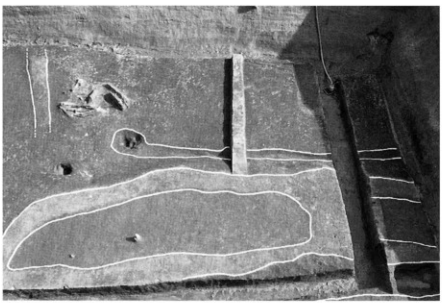
3．B区・第3遺構面
全景②（北より）



1．B区・第４遺構面全景
（北より）

2．B区・第４遺構面
直上砂層土器出土状況①

3．B区・第４遺構面
直上砂層土器出土状況②



1．B区・第４遺構面全景
（北より）

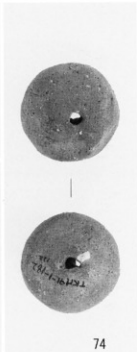
2．B区・第４遺構面
水田面土器出土状況①

3．B区・第４遺構面
水田面土器出土状況②

48

36

55
56


74

81

80

53

54

SD-A401（36）、第Ⅲ層（48・53～56）、第Ⅷ層（74）、第Ⅹ層（80・81）出土遺物

図版6　出土遺物（2）

第X層（93・94）、B区西壁断面G・H層（107・108・110・112）出土遺物

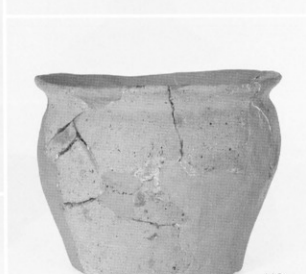
111

113

114

120

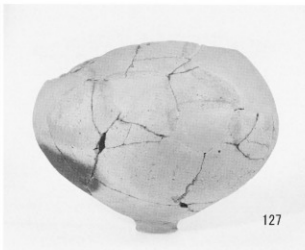
117


118

B区西壁断面G・H層（111・113・114・117・118・120）出土遺物

図版8　出土遺物（4）

128


127

121

132

124

122

125

138

側溝掘削（121・122・124・125・127・128・132）、撹乱（138）出土遺物

報告書抄録

ふりがな	てらかわはまいせきⅠ
書名	寺川浜遺跡Ⅰ
副書名	共同住宅建設に伴う発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	大東市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第31集
編著者名	中邊健一・松田直子（株式会社 地域文化財研究所）
編集機関	大東市教育委員会・株式会社 地域文化財研究所
所在地	〒574－0076　大阪府大東市曙町4番6号　TEL　072－870－9105
発行年月日	平成24年（2012）3月30日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
寺川浜遺跡	大阪府大東市野崎3丁目209－1	27218	52	34°42′40″	135°38′43″	平成4年3月19日～平成4年5月16日	431.73㎡	共同住宅建設

所収遺跡名	種別	主な時期	主な遺構	主な遺物	特記事項
寺川浜遺跡	水田	弥生時代後期末～庄内期	水田跡・畦畔	弥生土器・庄内式土器	
		中世	溝・土坑	土師器・瓦器・中国製青磁・白磁他	

大東市埋蔵文化財調査報告第31集

寺川浜遺跡Ⅰ

－共同住宅建設に伴う発掘調査報告書－

平成24年3月30日発行

編集・発行　大東市教育委員会

〒574-0076　大東市曙町4番6号

TEL.　072-870-9105

印刷・製本　株式会社　地域文化財研究所

〒578-0941　東大阪市岩田町1丁目17番9号

TEL.　072-968-7321